

下妻市消防団(第1分団1部) 詰所新築工事

図 面 リ ス ト					
NO.	図 面 名	縮 尺	NO.	図 面 名	縮 尺
000	表 紙 図面リスト		021	ベースバック柱脚工法 標準図	
001	設 計 概 要 書		022	QLデッキ 合成スラブ設計・施工標準図	
002	特 記 仕 様 書 - 1		023	地盤改良 特記仕様書	
003	特 記 仕 様 書 - 2		024	基礎伏図 地盤改良伏図	1 / 100
004	特 記 仕 様 書 - 3		025	基礎詳細図	1 / 30
005	内 外 仕 上 表	1 / 100	026	梁 伏 図	1 / 100
006	配置図 案内図 床面積計算図	1 / 150	027	軸組図 MEMBERLIST	1 / 100
007	1 階 平 面 詳 細 図	1 / 50	028	接 合 部 詳 細 図	1 / 30
008	2 階 平 面 詳 細 図	1 / 50	029	外 構 図	1 / 150
009	立面図 断面図 各種計算図	1 / 100	030	電 気 配 置 図	1 / 150
010	天井伏図 屋根伏図	1 / 100	031	電灯 コンセント配線図	1 / 50
011	矩 計 図 - 1	1 / 30	032	照 明 器 具 図	N・S
012	矩 計 図 - 2	1 / 30	033	給 排 水 配 置 図	1 / 150
013	1 階 展 開 図	1 / 50	034	1 階給排水平面図	1 / 50
014	2 階 展 開 図	1 / 50	035	2 階給排水平面図	1 / 50
015	建具表 キープラン	1 / 50	036	換 気 扇 平 面 図	1 / 50
016	構造設計標準仕様		037	機 器 表	N・S
017	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)		038	ホース乾燥棟図面	1 / 50
018	鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)				
019	鉄骨構造標準図 (1)				
020	鉄骨構造標準図 (2)				

軽部建築設計事務所

1 設 計 概 要										2 外部仕上及び外構																																																	
1-1 工事名称・その他										2-1 外部仕上																																																	
工事名称 下妻市消防団(第1分団1部)詰所新築工事				建築場所 茨城県下妻市下妻字上町丁104番1				敷地面積 (法42条2項による) 612.05㎡ (坪)				屋 根		ルーフデッキ H=85 t=0.6 (ガルバリウム塗装鋼板)																																													
事業主 住 所 下妻市本城町2丁目22番地 氏 名 下妻市長 菊池 博				都市計画区域 内 市街化区域 外 市街化調整区域 開発許可 要 不要				法42条2項により 割愛された面積 0.0㎡ (坪)				(屋根防水)																																															
工事種別 新築・増築・別棟増築・増改築・改築・移転 用途変更・大規模の修繕・大規模の模様替え				用途地域 第1種低層住専・第2種低層住専・第1種中高層住専 第2種中高層住専・第1種住居・第2種住居・準住居 近隣商業・商業・準工業・工業・工業専用 指定なし				容積率 200 % 建ぺい率 60 %				道路巾員 西 側 9.7m 側 都市計画施設(道路・公園・緑地・河川・その他) 計画決定・事業決定・無し		軒 天		ケイカル板 t=6 EP																																											
主要用途 消防団車庫兼詰所				防火地域 防 火・準防火・法22条の地域・指定なし								バウベツ(笠木)		アルミ笠木 W=250																																													
工 期 着工 平成 29 年 月 日 竣工 平成 29 年 月 日				その他の都市計画区域 特別用途(特別工業・文教・小売店舗・その他)・美観・風致・土地区画整理事業地区・宅地造成工業規制区域 高度・高度利用・特定街区・駐車場整備地区・電波伝播障害防止地区								下屋		ルーフデッキ H85 t=0.6 (ガルバリウム塗装鋼板)																																													
										バルコニー																																																	
										外 壁		ALC(ア)50 複層仕上 塗材E (アクリルタイル)																																															
										腰(巾木)		コンクリート打放し																																															
										犬 走		コンクリート金ゴテ直押え																																															
1-2 構造・規格										ポーチ																																																	
主体構造 SRC・RC・PC・S・LGS・P・CB・W・その他()										塔屋 層		屋外階段																																															
構造材料 コンクリート設計基準強度=N/mm ² (21)・鉄骨(BCR295・SN400A・SN400B SS400・SSC400・SN400C)・鉄筋(SD345 SD295)・その他()										地上 2 階		塔屋・煙突																																															
基礎 地耐力KN/㎡= 耐力KN/本= 地盤支持(ベタ・布・他立) 杭支持(RC・PC・鋼管・その他【柱状改良】)										地下 階		2-2 外部建具																																															
床 荷 重										備 考		窓		アルミサッシ(住宅用)		ガ ラ リ																																											
1-4 主要面積										1-5 各 高 さ		出入口		アルミサッシ(住宅用)		延焼のおそれある部分(法第2条6)																																											
シャッター 軽量オーバースライドインクド7										シャッター		軽量オーバースライドインクド7																																															
申請部分 申請以外の部分 合 計										建築物の高さ(令2条5) 標準地盤面より 7.65 m		2-3 外部金物・その他																																															
建築面積 36.50㎡(11.02坪) 0.0㎡(0.0坪) 36.50㎡(11.02坪) 建ぺい率 15.95 % ≤ 60 % 許容 %										最高の軒高 " 7.10 m		種 別 有 無 備 考		種 別 有 無 備 考																																													
延面積 68.00㎡(20.54坪) 0.0㎡(0.0坪) 68.00㎡(20.54坪) 容 積 率 23.77 % ≤ 200 % 許容 %										基礎の深さ " --- m		タラップ		物 干		〇																																											
駐車場(延面積に含む) ㎡(坪) ㎡(坪) ㎡(坪) 駐車台数										全面道路の中心高と標準地盤面の高さの差 " m		ルーフドレイン		丸 環		〇																																											
その他 外廊下 外階段 吹抜										主階の床高 標準地盤面より 0.15 m 土間コンクリート		飾 樹		旗竿金物		〇																																											
1-6 収 容 数 建物の主要用途に対する計画収容数(例=客室・収容人数etc)										基準階の天井高 床仕上面より 3.35 m		横 樋		塩ビ製 120口		手 摺		〇																																									
										塔屋の高さ RFLより m		堅 樋		塩ビ製 75φ		門 扉		〇																																									
										その他 煙突 m 屋上工作物 m		換 気 口		面 格 子		〇																																											
1-7 設 備										1-8 その他の工事										2-4 工作物・その他										2-5 外 構																													
種 別 有 無 備 考										種 別 有 無 備 考										種 別 有 無 備 考										種 別 有 無 備 考										種 別 有 無 備 考																			
電 受 変 電 〇										電 給 水 〇										電 受 話 器 〇										種 別 有 無 備 考										種 別 有 無 備 考																			
自 家 発 電 〇										給 湯 〇										家 具 ・ 什 器 類 〇										造 園 〇										造 園 〇																			
蓄 電 池 〇										排 水 〇										その他の備品 〇										構 内 舗 装 〇										構 内 舗 装 〇																			
幹 線 〇										衛 生 器 具 〇										金 庫 扉 〇										廣 告 塔 〇										廣 告 塔 〇																			
動 力 〇										ガ ス 〇										金 庫 内 棚 〇										独 立 煙 突 〇										独 立 煙 突 〇																			
電灯・コンセント 〇										消 火 〇										書庫・倉庫内棚 〇										慶 芥 捨 場 〇										慶 芥 捨 場 〇																			
照 明 器 具 〇										浄 化 槽 〇										掲示板・黒板 〇										物 干 〇										物 干 〇																			
電 話 〇										厨 房 器 具 〇										社名板・表札 〇										ゴンドラ設備 〇										ゴンドラ設備 〇																			
放送・インター 〇										空 気 調 和 〇										各種表示板文字 〇										電動ホース乾燥塔 〇										電動ホース乾燥塔 〇																			
テレビ共感 〇										暖 房 〇										ブ ラ イ ン ド 〇										テ ラ ス 〇										テ ラ ス 〇																			
避難口誘導灯 〇										冷 房 〇										カーテン 〇										運 動 ・ 遊 園 施 設 〇										運 動 ・ 遊 園 施 設 〇																			
火災報知器 〇										換 気 〇										カーベツト 〇										駐 車 場 〇										駐 車 場 〇																			
非常用照明 〇										床 暖 房 〇										マ ッ ト 〇																																							
警 報 機 器 〇										シ ャ ッ タ ー 〇										メー ル シ ュ ー ト 〇																																							
オンライン配管 〇										他 自 動 ド ア ー 〇										装 飾 物 〇																																							
図面変更										設計										軽部建築設計事務所										工事名										意匠No.										図面No.									
										令和7年4月 日										茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部守彦										下妻市消防団(第1分団1部)詰所新築工事																													
										承認										一級建築士事務所登録 茨 第(A)2399号(2507)										図 面 名										縮尺										001									
																				登録 第 207999 号										設計概要書										電気機械																			
																				TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643																																							

①① 特記仕様書の取扱いについて

- 1 項目は、項目番号に、○印をつけたものを適用する。
- 2 細目は、●印をつけたものを適用する。
- 3 その他特記事項は、（ ）内に記載する。
- 4 製造会社、施工会社指定については、後欄のメーカーリストに依るものとし、同等品以上と読み替える事も可能である。但し、その使用、採用に当たっては、係員の承認を受けるものとする。

① 一般共通事項

- | ① 適用範囲 | ○ 本特記仕様書は、各工事仕様書及び補足事項に記載なき事項を特記するものであり、各工事において、他の工事との関連ある事項は、各々該当の記載事項を参照する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|----------|-----------------------------------|------|----|------|----|------------|---|-----|---------|------------|---|---------|--------------|--------------------|---|---|--|-------------|---|---|--|--------------|---|---|--|------------|---|---|--|--------------|---|--------|------|--------------|---|------|-------------|------------|---|------|--|---------------|---|---|--|--------------|---|---|--|---------------|---|---|--|---------------|---|----------|--|-------------|---|-----|--|---------------|---|---|--|-------------|---|----------|-----------------------------------|--------------|---|---|--|-------------|---|-----|--|------------|---|---|---------|--------------|---|---|--|----------------|---|---|--|
| ② 疑義 | ○ 本工事の設計図書に関する疑義は、工事契約前に、質疑応答書をもって確かなるものとする。
○ 設計図書に記載なくとも、外観上、構造上、設備上当然必要と認められるものは、係員の指示に従い、請負金額の範囲内において施工するものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 優先順位 | ○ 本工事の設計図書等の優先順位は、下記による。
1. 現場説明事項（質疑応答書を含む）
2. 特記仕様書
3. 各設計図書
4. 共通仕様書
5. 公共規格及びこれに準ずる規格 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 材料試験 | ○ 本工事に使用する材料のうち、係員により指示のあるものに關してはその構成表を提出し、又は係員の認める試験所で試験を行い、確認を受けなければならない。なお試験に要する経費等は、すべて請負業者の負担とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 提出図書 | ○ 本工事の施工に伴う、提出図書は、下記に定めるもの。必要に応じて、係員と協議の上、作成するものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <table border="1"> <thead> <tr> <th>提出図書</th><th>部数</th><th>提出時期</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 工事請負契約書</td><td>2</td><td>契約時</td><td>控えとなるもの</td></tr> <tr> <td>○ 2. 工事工程表</td><td>3</td><td>契約後速やかに</td><td>ネットワーク工程表経読書</td></tr> <tr> <td>○ 3. 現場代理人及び主任技術者届</td><td>3</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 4. 協力業者名簿</td><td>3</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 5. メーカーリスト</td><td>3</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 6. 仮設計図書</td><td>3</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 7. 施工図、製作図</td><td>3</td><td>実施15日前</td><td>各工事毎</td></tr> <tr> <td>○ 8. 工事工程報告書</td><td>3</td><td>1ヶ月毎</td><td>工事進捗表、写真、日報</td></tr> <tr> <td>○ 9. 打合議事録</td><td>3</td><td>その都度</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 10. 変更工事見解書</td><td>2</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 11. 出来高承認図</td><td>2</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 12. 官公署提出書類</td><td>2</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 13. 材料試験報告書</td><td>3</td><td>試験後10日以内</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 14. 工事工程表</td><td>2</td><td>竣工時</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 15. 工事竣工引渡書</td><td>2</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 16. 工事竣工図</td><td>3</td><td>竣工時より20日</td><td>A2二折り 2部
A3縮小版 1部
L版（外観室内共）</td></tr> <tr> <td>○ 17. 工事竣工写真</td><td>1</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 18. 工事保証書</td><td>1</td><td>竣工時</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 19. 鍵リスト</td><td>2</td><td>〃</td><td>指定ボックス入</td></tr> <tr> <td>○ 20. CADデータ</td><td>1</td><td>〃</td><td></td></tr> <tr> <td>○ 21. WSD57データ</td><td>3</td><td>〃</td><td></td></tr> </tbody> </table> | | | | 提出図書 | 部数 | 提出時期 | 備考 | 1. 工事請負契約書 | 2 | 契約時 | 控えとなるもの | ○ 2. 工事工程表 | 3 | 契約後速やかに | ネットワーク工程表経読書 | ○ 3. 現場代理人及び主任技術者届 | 3 | 〃 | | ○ 4. 協力業者名簿 | 3 | 〃 | | ○ 5. メーカーリスト | 3 | 〃 | | ○ 6. 仮設計図書 | 3 | 〃 | | ○ 7. 施工図、製作図 | 3 | 実施15日前 | 各工事毎 | ○ 8. 工事工程報告書 | 3 | 1ヶ月毎 | 工事進捗表、写真、日報 | ○ 9. 打合議事録 | 3 | その都度 | | ○ 10. 変更工事見解書 | 2 | 〃 | | ○ 11. 出来高承認図 | 2 | 〃 | | ○ 12. 官公署提出書類 | 2 | 〃 | | ○ 13. 材料試験報告書 | 3 | 試験後10日以内 | | ○ 14. 工事工程表 | 2 | 竣工時 | | ○ 15. 工事竣工引渡書 | 2 | 〃 | | ○ 16. 工事竣工図 | 3 | 竣工時より20日 | A2二折り 2部
A3縮小版 1部
L版（外観室内共） | ○ 17. 工事竣工写真 | 1 | 〃 | | ○ 18. 工事保証書 | 1 | 竣工時 | | ○ 19. 鍵リスト | 2 | 〃 | 指定ボックス入 | ○ 20. CADデータ | 1 | 〃 | | ○ 21. WSD57データ | 3 | 〃 | |
| 提出図書 | 部数 | 提出時期 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1. 工事請負契約書 | 2 | 契約時 | 控えとなるもの | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 2. 工事工程表 | 3 | 契約後速やかに | ネットワーク工程表経読書 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 3. 現場代理人及び主任技術者届 | 3 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 4. 協力業者名簿 | 3 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 5. メーカーリスト | 3 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 6. 仮設計図書 | 3 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 7. 施工図、製作図 | 3 | 実施15日前 | 各工事毎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 8. 工事工程報告書 | 3 | 1ヶ月毎 | 工事進捗表、写真、日報 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 9. 打合議事録 | 3 | その都度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 10. 変更工事見解書 | 2 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 11. 出来高承認図 | 2 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 12. 官公署提出書類 | 2 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 13. 材料試験報告書 | 3 | 試験後10日以内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 14. 工事工程表 | 2 | 竣工時 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 15. 工事竣工引渡書 | 2 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 16. 工事竣工図 | 3 | 竣工時より20日 | A2二折り 2部
A3縮小版 1部
L版（外観室内共） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 17. 工事竣工写真 | 1 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 18. 工事保証書 | 1 | 竣工時 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 19. 鍵リスト | 2 | 〃 | 指定ボックス入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 20. CADデータ | 1 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ○ 21. WSD57データ | 3 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 工事竣工図は、黒文字入2つ折表本とし、三部提出する。（A2・A3版） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ・ 竣工写真は、アルバム貼付にて提出する。（A4版） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑥ 定例打合せ | ○ 工事の円滑な遂行を計るため、係員の指示により、工事期間中定期的に各工事責任者を召集し、打合せを行うものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ 既設部分との取合 | ○ 請負者は、定例打合せ後々々事項をとり、その都度係員の承認を得るものとする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ 既設部分との取合 | ○ 既設建物と今回工事の取り合い部分、その他で新りおよび工事の都合などにより損傷、損傷されたる箇所は、今回工事仕上げ及び、旧工事、仕上同時にて完全に補修しなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ 別途工事 | ○ 別途工事として行うの工事工程ならびに、納まり等に関しては、別途工事業者と密接に連絡し、調整に当たらなければならない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧ 工事保障その他 | ○ 建物竣工引渡し後、1 年以内において工事不良のため、生じたと認められる損害は、請負者の負担にて、最速工事にて復旧する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧ 工事保障その他 | ○ 本工事竣工に際しては、本工事場所が、工事による騒音、振動などについて地域規制されていなくとも、規制されている場合は、規制に従い、施工計画を立て、関係官庁の指導を受ける。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨ シックハウス対策 | ○ 全使用材料の WSD57（科学物質安全データシート）提出
○ 全使用材料の材料発生率表、又は商品内容表取寄せ、提出 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

② 仮設工事

- | | | |
|---|-----------------|--|
| 1 | 仮囲い | ・構造：…鋼板造・木造・その他（
・高さ：…1.5M・1.8M・3M以上
・その他（
・仕上：…仕上なし・ベント仕上
・その他（
・範囲：…道路面、および安全上必要と思われる範囲とする。
・意匠：… |
| 2 | 工事用
仮設道路 | ・設ける：…材質 ・幅 M
・延長 M 枚数 枚 |
| 3 | 工事出入口 | ・構造：…シフト・バタ・電動シャッター・その他
・材質：…防炎・防水性・鋼製複層板（
・仕上：…仕上なし・ベント仕上
・幅：…3.6 M・4.0 M・6.0 M・6.8 M
・高さ：…4.5 M・5.0 M・その他（ |
| 4 | 係員詰所
（現場事務所） | ・構造：…プレハブ造・木造・その他（
・規模：…10㎡内外・20㎡内外・35㎡内外
・その他（
・備品：…机、椅子、卓燈及び図面箱、図板、定規、黒板、
温度計、テストハンマー、ノギス、安全帽
米倉用安全帽、長靴、水平基準器、ロッカー
・その他（
・設備：…電灯、給排水、給油設備・電話・冷暖房
・消火器・インターホーン・クーラー
・その他（
係員詰所は工事打合わせに便利ように隣接事務所に隣接して建てる。
詰所に係る諸経費は、一切請負者の負担とする。 |
| 5 | 看板 | ・本工事現場に提示する看板は、大きさ、書体、仕上げ、取付位置など
あらかじめ係員と協議する。 |
| ⑥ | 工事用水電力 | ・利用できる（・有償・無償）○利用できない |
| ⑦ | 障害物の処理 | ○工事上撤去、移設を要する軽微なものも、本工事の範囲とする。 |
| ⑧ | 設計 G. L. | ○標準 G. L. の決定及び、B. M. の設置は、係員の立会いのもとに行う。 |
| ⑨ | 保護設備 | ・本工事の施工に当たり、付託仕屋、隣接建物、工作物、通行人に対して
被害を及ぼさないように、必要な保護設備を計画し、係員及び各関係の
承認を得て実施する。万一誤作を及ぼした時は、速やかに応急手当、復
旧工事とし、これに要した費用は、請負者の負担とする。
○工事完了後、建物利用し前に全体の掃除を行い、公道の工事による
損傷物は完全に復旧する。 |

③ 土工

- | | |
|-------------|--|
| ① 掘 切 り | ○ 工事着手前に掘切方法、山留工法、排水方法、使用機器等を記した、
施工計画図を提出し、係員の承認を得るものとする。
○ 掘切完了後、深さ、大きさ、床さらいの状態について、係員の承認を
得るものとする。
・ 特設工法 |
| ② 敷地整理 | ・ 樹 木 : ・ 移 植 ・ 伐 切 ・ その他 (|
| ③ 埋 戻 し、盛 土 | ○ 埋戻し : ○ 掘切土使用 ・ その他 (
○ 盛 土 : ○ 無 ・ 有 |
| ④ 残 土 処 分 | ○ 場外搬出
・ 場内堆積 ・ 場内散均し
・ その他 (|

④ 地 業 工 事

- | | | |
|---|-------------|---|
| 1 | 地耐力試験 | ・ 不 要 ・ 必 要 () ヲ ヶ 所
・ 長期支持力 () t/m ² |
| 2 | 既設杭地業 | ・ 杭の種類 : ・ R C 杭 ・ P H C 杭 ・ その他 ()
・ 長さ等 : 詳細については構造設計図特記による。
・ 試験 杭 : 詳細については構造設計図特記による。
・ アースオーガー工法 : ・ 不 要 ・ 必 要 〇 () m ² |
| 3 | 場所打コンクリート地業 | ・ 杭の種類 : ・ アースドリル杭 ・ ペノト杭 ・ 深掘工法
・ その他 ()
・ 長さ等 : 詳細については構造設計図特記による。
・ 使用材料 : 詳細については構造設計図特記による。
・ コンクリート : 詳細については構造設計図特記による。
・ 積留試験 : ・ 不 要 ・ 必 要 () ヲ ヶ 所 |

- | | | | |
|---|------------------|---|--|
| 4 | 割栗 及び
砂利地業 | ○ 地家の種類 : ・ 割栗 ・ 砂 ・ 砂利 ○ 砕石
・ その他 ()
○ 厚 さ : (150) mm | |
| 5 | ラップル
コングリート地業 | ・ コングリートの割合 : セメント1・ 砂3 ・ 砂利6 (容積)
・ コングリートと玉石の比率 : 1 : 1・ その他 () | |
| 6 | 捨てコンク
リート地業 | ○ 厚 さ : (50) mm
・ 調 合 : セメント1・ 砂3 ・ 砂利6 (容積比) | |
| 7 | おリヱレン
フイル敷き | ・ 不 要 ○ 必 要 厚 0. 15mm | |
| 8 | 特殊工法 | ・ | |

⑤ コンクリート工事

- | | |
|--------------------------|---|
| ① 鉄筋
コンクリート | <input type="radio"/> コンクリートの種類 : <input type="radio"/> 普通コンクリート ・ <input type="radio"/> 早強コンクリート
<input type="radio"/> のその他 (<input type="radio"/> 21 N/m ²)
<input type="radio"/> 設計基準強度 : <input type="radio"/> 18 N/m ² ・ <input type="radio"/> 22.5 N/m ² ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 混和剤等 : <input type="radio"/> 減水剤 ・ <input type="radio"/> 防錆剤
<input type="radio"/> のその他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 粗骨材 : <input type="radio"/> 川砂利 ・ <input type="radio"/> 砕石
<input type="radio"/> のその他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 細骨材 : <input type="radio"/> 川砂 ・ <input type="radio"/> 山砂 ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> コンクリートの供給 : <input type="radio"/> レディーミックスコンクリート
<input type="radio"/> 現場コンクリート
<input type="radio"/> のその他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 水セメント比 : <input type="radio"/> 60°/Wt以下 ・ <input type="radio"/> 70°/Wt以下
<input type="radio"/> のその他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 塩化物規制 : <input type="radio"/> 0.3kg/コンクリートm ² 以下
<input type="radio"/> 0.3kg/m ² ～0.6kg/m ² |
| 2 軽量
コンクリート
(構造用) | <input type="radio"/> 粗骨材 : <input type="radio"/> 人工軽量骨材 ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 細骨材 : <input type="radio"/> 人工軽量骨材 ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 設計基準強度 : <input type="radio"/> 18 N/m ² ・ <input type="radio"/> 21 N/m ² ・ <input type="radio"/> 22.5 N/m ² ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 気乾比重 : <input type="radio"/> 1.8以下 ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>) |
| 3 案中
コンクリート | <input type="radio"/> 適用範囲 : () 年 () 月 () 日～ () 年 () 月 () 日 |
| 4 無筋
コンクリート | <input type="radio"/> 土間コンクリート : Fc=21 N/m ² スランプ15cm以下とする。
<input type="radio"/> 防水押え床かさ上げコンクリート : Fc=13.5 N/m ² |
| 5 軽量
コンクリート
(非構造用) | <input type="radio"/> 基準強度 : <input type="radio"/> 9 N/m ² ・ <input type="radio"/> 13.5 N/m ² ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 気乾比重 : <input type="radio"/> 1.8 ・ <input type="radio"/> 1.2 ・ <input type="radio"/> 1.1 ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 粗骨材 : <input type="radio"/> 火山砂利又は石炭ガラ ・ <input type="radio"/> 人工軽量骨材
<input type="radio"/> のその他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 細骨材 : <input type="radio"/> 川砂 ・ <input type="radio"/> 山砂 ・ <input type="radio"/> 海砂
<input type="radio"/> のその他 (<input type="radio"/>) |
| ⑥ 型 枠 | <input type="radio"/> 材 料 : <input type="radio"/> 合板 (厚12mm) ・ <input type="radio"/> 緑甲板 (厚 m/m)
<input type="radio"/> 金属製型枠パネル ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 工 法 : <input type="radio"/> ボルト式 ・ <input type="radio"/> 番線式 ・ <input type="radio"/> その他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 剥離剤 : <input type="radio"/> 使用不可 <input type="radio"/> 使用可 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> 存置期間 : 建設者告示第110号による。
<input type="radio"/> 打放しコンクリート仕上りのかぶり厚度 : <input type="radio"/> 2.0m/m
<input type="radio"/> のその他 (<input type="radio"/>)
<input type="radio"/> コンクリート面の仕上り程度 : <input type="radio"/> 目違い不陸等極めて少ない良好な面とする。
<input type="radio"/> 目違い不陸等の少ない良好な面とする。
<input type="radio"/> 打放しのままと目違いいらいらを行う。
<input type="radio"/> 木コン等による穴の仕上 : 打放し仕上げの場合、保水剤入りモルタルを塗める。
<input type="radio"/> 面うちに仕上げを。
<input type="radio"/> コンクリート面に合わせ仕上げを。 |
| ⑦ 試 験 | <input type="radio"/> 採取した試験体は工事現場等、請負業者の直接管理下にある場所に保管する。
<input type="radio"/> コンクリートの圧縮強度試験は、公認の試験所にて行うことを原則とする。 |
| ⑧ 運搬及び
打込 | <input type="radio"/> コンクリート打込に先立って、設計、施工条件を十分考慮し、適切な施工計画書を作成し、係員の承認をうけるものとする。 |

⑥ 鉄筋工事

- | | |
|--------------------|--|
| ① 一般事項 | ○ 鉄筋の使用範囲は、構造設計図による。
○ 鉄筋の継手及び補強鉄筋等については、共通仕様書の中に、構造設計図記載の、基準詳細図等を優先とする。
○ 鉄筋の加工、組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工図を作成し、係員の承認を受ける。 |
| ② 材 料 | ・ 普通鉄筋 : SR24 (規格品)
・ 異形鉄筋 : SD24 (規格品) ○ SD29.5A (規格品)
SD34.5 (規格品) ○ SD40 (規格品)
・ その他 (|
| ③ 継 手 | ○ 種 類 : ・ ガス圧縮継手 (・ 16φ以上 ・ 19φ以上)
・ 重ね継手
・ その他 (|
| ④ 鉄 筋
ス ペ ー サ ー | ○ 種 類 : ○ 金属製 ○ モルタル製 ○ 塩ビ製
・ その他 (|

⑦ 鉄骨工事

- | | |
|------------|---|
| ① 一般事項 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 使用範囲及び区分は、構造設計図による。 ○ 鉄骨の継手、仕口及び補強部分その他については、共通仕様書の他に構造設計図記載の、詳細詳細図等を優先する。 ○ 工作図または、原寸図(型板及び定義を含む)を作成し、係員の検査を受ける。 |
| ② 普通鋼 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 形鋼・鋼板：<input type="radio"/> SS400 <input type="radio"/> SN400B <input type="radio"/> SN400C ○ <input type="radio"/> SS400 ○ その他（<input type="radio"/> STKR400（規格品） |
| ○ 軽量形鋼 | <ul style="list-style-type: none"> ○ SS400（規格品） |
| ○ 鋼 管 | <ul style="list-style-type: none"> ○ STKR400・STK50・BCR400 ○ その他（<input type="radio"/> 鋼295 |
| ○ 高力ボルト | <ul style="list-style-type: none"> ○ F8T <input type="radio"/> F10T <input type="radio"/> F12T |
| ○ 普通ボルト | <ul style="list-style-type: none"> ○ SS400とし準強中ボルト程度とする。 |
| - リベット | <ul style="list-style-type: none"> ○ SV41A（規格品） |
| ○ 溶接材料 | <ul style="list-style-type: none"> ○ JIS・Z・3211規格に適合するもの。 |
| ○ 防錆塗装 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 素地調整の程度 <ul style="list-style-type: none"> ○ 第一種ケレン（プラスチック） ○ 第二種ケレン（機械的作業） ○ 第三種ケレン（手工具作業） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 錆止塗装は、仕上塗装種別に応じた同系錆止塗料とする。 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 塗装回数：工場1回、現場1回、但し組立後塗装不可能な部分は、工場2回塗りとする。 |
| ○ 仕上塗装 | <ul style="list-style-type: none"> ○ オイルペイント <input type="radio"/> グラフアイトペイント ○ その他（<input type="radio"/> 第一種ケレン（機械的作業） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 第三種ケレン（手工具作業） |
| ③ 耐候性 | |
| 高強度鋼 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 鋼 材：<input type="radio"/> SPA H/C <input type="radio"/> SM50A/B/C ○ SM50BC <input type="radio"/> その他（<input type="radio"/> F8T <input type="radio"/> F10T <input type="radio"/> F12T |
| ○ 高力ボルト | <ul style="list-style-type: none"> ○ F8T <input type="radio"/> F10T <input type="radio"/> F12T |
| ○ 使用材料 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 裸使用 <input type="radio"/> 表面処理 <ul style="list-style-type: none"> ○ ウェザーコートⅠ ○ ウェザーコートⅡ ○ その他（<input type="radio"/> 第一種ケレン（機械的作業） |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○ 溶接材料：<input type="radio"/> JIS・Z・3212規格に適合するもの。 |
| ④ 工 法 | <ul style="list-style-type: none"> ○ ボルト工法 <input type="radio"/> 溶接工法（アーク溶接） ○ その他（<input type="radio"/> 第一種ケレン（機械的作業） |
| ⑤ 溶接部の試験 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 試験の種類 <input type="radio"/> 超音波探傷試験 <input type="radio"/> X線検査 ○ その他（<input type="radio"/> 第一種ケレン（機械的作業） |
| ⑥ 溶接工の技能確認 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 行なう <input type="radio"/> 行なわない |
| ⑦ 試 作 品 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 必要 <input type="radio"/> 不必要 |

図面変更		設計	 軽部建築設計事務所 茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部 守彦 一級建築士事務所登録 茨第(A)2399号(2507) 一級建築士 登録 第207999号 TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643		工 事 名		窓 戸 No.	図面 No.
		令和7年4月 日			下妻市消防団(第1分団1部)諸所新築工事		構造	002
		承認			図 面 名	縮尺	外構	
					特記仕様書-1	-	電気 機械	

⑧ 組 積 工 事

1	コンクリート ブロッカ	<ul style="list-style-type: none"> ・種別：<input type="radio"/> A種 <input type="radio"/> B種 <input type="radio"/> C種 (防水) ・厚さ：<input type="radio"/> 100mm <input type="radio"/> 120mm <input type="radio"/> 150mm ・<input type="radio"/> 190mm ・補強鉄筋： 縦筋 D10@400mm 横筋 D10@600mm 開口補強筋 D13
		<ul style="list-style-type: none"> ・種別：<input type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 耐火 <input type="radio"/> 焼通ぎ ・その他 () ・使用箇所：<input type="radio"/> 化粧 <input type="radio"/> 遮下 <input type="radio"/> 防水押え <input type="radio"/> 焼通 ・その他 ()
2	煉瓦 (レンガ)	
3	ALC版	<ul style="list-style-type: none"> ○ 形状・寸法：<input type="radio"/> 外壁 (50) mm・間仕切壁 () mm ・床版 () mm・屋根板 () mm ○ 目地コーキング材：<input type="radio"/> 弾性 (<input type="radio"/> ポリサルファイド系 ・シリコン系 ○ ポリウレタン系) ・塑性 (<input type="radio"/> アクリル系 <input type="radio"/> ブチル系) ・油性 ・その他 () ・取付金物：SS41を原則とし、亜鉛メッキ処理を原則とする。
4	プレキャスト コンクリート	<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、事前に指定製作所に於て設計図及び仕様書に基づきあらかじめ製作。組立工法の詳細について、施工図及び、施工計画書を提出し、係員の承認を受けた後工事に着手する。 ・コンクリートの種別：<input type="radio"/> 軽量コンクリート (構造用) ・<input type="radio"/> 普通コンクリート ・湿和剤の有無：<input type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不必要 ・コンクリートの強度：() kg/cm² ・型 枠：<input type="radio"/> 木製 <input type="radio"/> 金属製 ・その他 () ・シーリング材：<input type="radio"/> ポリサルファイド系 ・その他 () ・取付金物の防錆処理：<input type="radio"/> シンクロメットメッキ処理 ・亜鉛メッキ処理 ・その他 () ・原寸試作品：<input type="radio"/> 必要 <input type="radio"/> 不必要

⑨ 防水工事

1	一般事項	・ 本工事は、すべて責任施工とする。
2	アスファルト防水	・ 種 別 : ・ 歩行用屋上防水 ・ 露出屋上防水 ・ 室内防水 ・ その他
3	シート防水	・ 種 別 : ・ 合成ゴム系シート防水 厚 () mm ・ 合成樹脂系シート防水 厚 () mm ・ その他 ()
4	塗布、塗膜防水	・ 種 別 : ・ ウレタン塗布防水 厚 () mm ・ ゴムアスファルト塗布防水 厚 () mm ・ その他 ()
5	FRP防水	・ 種 別 : ・ その他 ()
6	止水板	・ 地下階コンクリート打継ぎ箇所止水板 : ・ 不要 ・ 必要 ・ クロロプレン ・ 合成樹脂
7	目地押え伸縮目地	・ 目地材料 : ・ エラストイト+アスファルトコンパウンド (巾 mm) ・ 発泡樹脂板+アスファルトコンパウンド (巾 mm) ・ その他 () ・ 工 法 : アスファルトコンパウンドは、防水押え仕上り面より5m/m下りに充てんしエラストイト以外の目地押えは必ず撤去する。
8	責任保証	・ 工事請負者及び施工会社は、記名捺印の上、下記保証期間の保証書を3部係員に提出するものとし、事故を発生した場合は、無償にて補修償還するものとする。 ・ アスファルト防水 : 10年間 ・ シート防水 : ()年間 ・ 塗膜防水 : ()年間 ・ モルタル防水 : 5年間 ・ その他 ()

②	<p>○ コーキング 材</p> <p>○ 外部建具廻り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポリサルファイド系 ○ ポリウレタン系 ○ 油性系 ○ シリコン系 ○ その他 () <p>・ コンクリート打眼目地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ポリサルファイド系 ・ ポリウレタン系 ・ 油性系 ・ シリコン系 ・ その他 () <p>○ 劣てんは(10)mm≧(10)mmを最小とする。バックアップ材を使用するものとし、発泡樹脂成型製材とする。</p>
③	<p>○ バネ目地</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ポリウレタン系
④	<p>○ シックハウス対策</p> <p>○ 内部</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ MSDG[®] ナート[®] 提出

10 石 工 事

1	一般事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石材は、傷、腐れ又は亀裂を生ずる恐れのある筋や欠点のないものとし、色、仕上の材質は、サンプルにより、指定する。 ・ つなぎ金物の上皿、錠、干切錠は防錆処理を施した鋼又は、真ちゅう製とする。 ・ 仕上の種類は、次の記号を用いる。 <ul style="list-style-type: none"> A = 本磨き B = 水磨き C = 粗磨き D = 小叩き E = ひき肌 F = ビシヤン叩き G = 割 肌 m = ヴェジツバ[※]
2	材 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大理石 : ・ 国産 ・ 外国産 ・ 板厚 () m/m ・ 仕上 () ・ 花崗石 : ・ 国産 ・ 外国産 ・ 板厚 (30) m/m ・ 仕上 () ・ その他 : ・ 国産 () ・ 外国産 () ・ 板厚 () m/m ・ 仕上 () ・ テラゾーブロック : ・ 礎石 () ・ 厚 () m/m ・ 仕上 ()
3	シックナガス対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部 接着剤 : ・ MSDF[※]シーラント 提出

11 タイル工事

1	一般事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定製造会社の製品により、実名書を提出し、係員の承認を受ける。 ・ タイル割付表を作成し、指定の箇所は役物を用いるものとし、係員の承認を受ける。
2	工 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伸縮目地：垂直方向には、柱間毎に（柱型がない場合）あるいは柱型の間隔（柱型がある場合）に設ける。 水平方向には、各階毎に設ける。 ・ タイル張工法： <ul style="list-style-type: none"> ・ 庄着工法 ・ 図子張工法 ・ 接着張工法 ・ 打ち込み工法 ・ その他()
3	普通 タイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ セッ張タイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ 陶器タイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ 磁器タイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ モザイクタイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ クリソカータイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ その他 () () m/m * () m/m * 厚 () m/m
4	特殊 タイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ テラコッタタイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ 高窓タイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ 模様入タイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ 外国産タイル () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ その他 () () m/m * () m/m * 厚 () m/m ・ () () m/m * () m/m * 厚 () m/m
5	シックハウス対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部 接着剤 : ・ MSOSF+ ーントン 提出

1 2 木 工 事

1	一般事項	<ul style="list-style-type: none"> ・土台・床下地は、薬液による防虫処理剤を使用する。 ・タワシ状使用の場合は、加熱による防虫処理剤とする。但し係員の承認を受けて、薬液による防虫処理剤を使用してもよい。 ・水廻り及び経、敷居類は、栓又は同等以上の密着を使用するものとする。
2	樹根及び等級	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見え隠れ材 : ・ 樹根(・ 等級) ・ 和室造作材 : ・ 樹根(・ 等級) ・ 一般造作材 : ・ 樹根(・ 等級) ・ 枠 : ・ 樹根(・ 等級) ・ 集束材の裏面 : 樹根(・ 等級)
3	防蟻・防虫の処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見え隠れ部分の抱水面上に接する部分、及び地盤より1m以内の部分に行うものとする。
4	シツパハス対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ MSDSデータシート 提出 接着剤・集束材・防虫土台等

⑬ 屋 根 工 事

1	亜鉛鉄板葺	・ 材料 : ・ 亜鉛鍍鉄板 ・ 片面カラー鉄板 ・ ビニール被覆鉄板 ・ その他() m/m ・ 板厚 : ・ () m/m ・ 工法 : ・ 平葺(・ 一文字葺 ・ ひし葺 ・ 瓦葺葺) ・ 波板葺(・ 大波 ・ 小波) ・ 形状 : ・ 長尺 ・ 規格 ・ 野地板 : ・ ドリゾール板 厚 () m/m ・ 木毛セメント板 厚 () m/m ・ 杉莪板 厚 () m/m ・ その他() ・ 下葺 : ・ アスファルトーフィング(2.2Kg以上) ・ アスファルトフェルト(2.0Kg以上) ・ その他()
2	スレート葺	・ 材料 : ・ 石綿大波 ・ 石綿小波 ・ 石綿平波 ・ リブ ・ その他()
③	折板構造	○ 材料 : ・ 亜鉛鍍鉄板 ○ 片面カラー鉄板 ・ ビニール被覆鉄板 ・ その他() ○ 板厚 : ・ (0.6) m/m ・ 被覆 : ・ 耐火() ・ 断熱() ・ 工法 : 指定製造者の仕様による。
4	アスファルト シingle葺	・ 材料・工法 :
5	瓦葺き	・ 材料・工法 :
6	銅板葺き	・ 材料・工法 :
7	その他の 屋根葺	・ 材料・工法 :
⑧	樋	○ 堅樋 : ・ 銅管(φ 40□ m/m) ○ 塩ビパイプ(φ 75 m/m) ・ カラー鉄板 ・ 谷樋 : ・ カラー鉄板 ・ その他() ○ 軒樋 : ・ カラー鉄板 ・ その他() 塩ビ製 120□ ・ 防露 : 建物内部に取付く部分は設示なく限りガラス繊維保温箔 厚2.5m/mの上アスファルトフェルト巻ビニールテープ押 えとする。

① 4 金 属 工 事

①	一般事項	・ 工事にあたっては、製作図を提出の上従員の承諾を受けるものとする。
②	防錆処理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部金物： ジンクロートメッキ処理 ・ 亜鉛メッキ処理 ・ その他() ・ 内部金物： JIS S (鉛丹ジンクロート禁止塗料) に規定する塗料 1 回塗とする。 ・ 取付用地下金物： 指定なし限り亜鉛メッキ処理とする。
③	軽重量鉄骨天井及び壁地下地材	<p>○ 軽重量鉄骨天井地下地および、壁地下は指定製造所製品とし、防錆処理はジンクロートメッキ処理、または亜鉛メッキ処理を施したものである。</p>

4	金属製階段 ノブスラブ	・材質・巾・ ステンレス製() m/m・アルミ製() m/m ・鉄製() m/m・真鍮製() m/m ・型式・タイヤ入・タイヤ無
5	ルーフ ドレイン	・材質・鉄板製コールド溶付仕上げとする。 ・取付工法・先付け工法・後付け工法
6	マンホール	・種類・並型・防水型・耐重型・防鼠型 ・設く有・無 ・材質・鉄板製・アルミ製・その他 ・型式・丸型・角型・二重型化粧マンホール ・その他()
7	天井改め口	・材質・アルミ枠製・ステンレス枠製・その他() ・寸法・4.5 0m/角・6.0 0m/角
8	格子蓋	・材質・鉄板製() m/m・ステンレス製() m/m ・その他()
9	製作金物	・材質・形状等は、設計図によるものとする。

15 左官工事

1	モルタル 塗	<ul style="list-style-type: none"> ・ モルタルは電氣防止剤、接着剤、防水剤その他の混和剤を必要に応じて保護と密着の上使用するものとする。 ・ 塗厚 内壁 : 2.0 m/m ・ () m/m ・ 外壁 : 2.5 m/m ・ () m/m ・ 床 : 3.0 m/m ・ () m/m
2	防水 モルタル 壁	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防水剤は指定製造会社の製品とし、モルタルの環に準じて仕上げる。 ・ 割合管轄比 セメント:1 砂 : 2 ・ 防水剤 (製造会社の指定量)
3	プラスタ 壁	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類 : ドロマイトプラスター ・ 石膏プラスター ・ ALC版用プラスター ・ その他 (・ ラスボード : 厚 9 m/m ・ 厚 7 m/m ・ その他 (
4	吹付タイル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類 : 無機質系 ・ 有機質系 ・ その他 (・ 仕上 : (
5	リシン 吹付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類 : アクリル系 ・ セメント系 ・ その他 (・ 仕上 : 本施工前に見本吹きを行い、吹付回数を決する。
6	白セメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 白セメントにドロマイトプラスター (上塗用) を10%混和を練りしたものをこてて使用するものとし、2回吹付とする。
7	岩綿 吹付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類 : 吸音用 ・ その他 ・ 吹付厚 : 1.0 m/m ・ 1.5 m/m ・ 2.0 m/m ・ 2.5 m/m ・ 色 : 着色色 ・ 原色 ・ 仕上 : 吹付 ・ こて押え
8	石綿 吹付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類 : 断熱用 ・ 耐火被覆用 ・ 吸音用 ・ その他 (・ 吹付厚 : () m/m ・ 色 : 着色色 ・ 原色 ・ 仕上 : 吹付 ・ こて押え ・ エンボス仕上 ・ その他 (
9	ひる石 吹付	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類 : 吸音用 ・ その他 ・ 吹付厚 : 3 m/m ・ 5 m/m ・ 色 : 着色色 ・ 原色 ・ 仕上 : 吹付 ・ かき落し ・ こて押え
10	人造石 塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上 : 水磨き ・ 粗磨き ・ 小叩き ・ かき落し ・ その他 (
11	テラソー 現場 塗	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上 : 水磨き ・ 粗磨き ・ 小叩き ・ かき落し ・ その他 (
12	塗 床 材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類 : 硬質着色床 ・ 合成樹脂ビニール系 ・ 合成樹脂エポキシ系 ・ その他 (
13	珪藻土 塗り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部 2.0 mm以上とする。 ・ MSDSデータシート 提出 ・ 外部 5.0 mm以上とする。
14	シツカウメ 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内部 吹付け材・接着剤 : MSDSデータシート 提出

図面変更		設計	 軽部建築設計事務所 茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部 守彦 一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (2507) 登録 第 207999 号 TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643		工 事 名 下妻市消防団(第1分団1部)跡所新築工事		窓 戸	No.	図面 No.
		令和 7 年 4 月 日			図 面 名 特記仕様書-2		縮尺 —	構造 外構 電気 機械	003
		承認							

1 建 具 工 事

① アルミ 建具	<p>○ 種 類 : ○ レディーメード製品 ・ イーゾーオーダー製品 ・ オーダーメイド製品 ・ その他 (</p> <p>○ 型 式 : ○ レギュラー ・ セミエアタイト ・ エアタイト その他 (</p> <p>○ 仕 上 : ・ アルマイト仕上 ・ 自然発色皮膜 ・ 電解着色皮膜 ・ その他 (</p>
2 鋼製 建具	<p>・ 種 類 : ・ 普通鋼板 ・ ボンデ亜鉛鋼板 ・ ボンデ鋼板 ・ 耐酸鋼板 ・ その他 (</p> <p>・ 鋼板厚さ : ・ 窓、出入口・三方枠・方立・無目等は厚さ2.3mm 窓指はステンレス製厚さ2mm、</p> <p>・ 防錆処理 : ・ フังก์ロメーテス防錆塗装・防錆・その他 (</p> <p>・ 防音処理 : ・ 防音断熱性能は30dB以上とする。 ・ その他 (</p> <p>・ 外部断り、機械室、その他騒音を生じる箇所の鋼製 ドア等はスポンジネオプレーン気密材を用いて気 密にする。</p>
3 ステンレス 製 建具	<p>・ 種 類 : ・ レディーメード製品 ・ オーダーメイド製品</p> <p>・ 仕 上 : ・ ヘアーライン仕上 ・ パフ仕上 ・ エッチング仕上 ・ ミラー仕上 ・ その他 (</p> <p>・ 曲げ加工 : ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ ・ その他 (</p>
④ シャッター	<p>○ 種 類 : ・ 重量電動シャッター ・ 軽量電動シャッター ○ 軽量手動シャッター (軽量バネ付タイプ)</p> <p>○ 防煙・防火シャッター (・ 甲種 ・ 乙種)</p> <p>・ 型 式 : ・ 差込型 ・ バイブ型 ・ リベット綴り型 ・ ネット型 ・ 波型 ・ その他 (</p> <p>・ 機 構 : ・ 巻上げ式 ・ 横引式 ・ 水平式 ・ その他 (</p> <p>○ レール・マグサ : ・ ステンレス製 ○ 鋼板製</p> <p>○ スラットの種類 : ・ ステンレス製 ・ アルミ製 ○ 鋼板製</p> <p>厚さ : ・ 厚1.6mm ・ 厚1.2mm ・ 厚0.8mm ○ 厚 (0.5) mm</p>
5 自動 扉 装置	<p>・ 動力方式 : ・ 油圧式 ・ 空気圧式 ・ 電気圧式 ・ その他 (</p> <p>・ 制御方式 : ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ式 ・ 光電スイッチ ・ その他 (</p>
⑥ 木 製 建具	<p>・ 一般事項 : ・ 仕上塗装は後記、塗装工事仕様によるものとし、化粧 合板の仕様は設計図による。</p> <p>・ フラッシュ戸表面材の厚さ : ・ 5.5mm以上 ・ 4.0mm以上 ・ 3.0mm以上</p> <p>・ 指定製造所の製品とし、形式は設計図により、見本提出の上、係員が 承認したものである。</p> <p>・ マスターキー : ・ 必要 () 組各3枚 ・ 不要</p> <p>・ グランドマスターキー : ・ 必要 ・ 不要</p> <p>・ 各キーは市販キーボックスに納入し、案内図を添付して係員に提出 する。</p>
⑦ 建具 金物	<p>○ 建具の周囲は入念にコーキングすること。</p> <p>○ 種 類 : ・ ポリサルファイド系 ○ シリコン系 ・ 油性 ・ その他 (</p> <p>○ 網の種類 : ・ サラン ・ ステンレス ・ グラスファイバー ・ その他 (</p> <p>○ 種 類 : ・ 設計図によるものとし、指定製造会社の製品とする。</p> <p>○ ガラス取付材料 : ○ グレタレン ・ ポリサルファイド系シール材 ・ 硬化性ガラスパテ ・ ネオプレーンジッパーガスケツト ・ その他 (</p>
⑧ 建具 周囲 の シーリング 材	<p>○ シックハウス対策 木製建具 シーリング</p> <p>・ MSOSシート提出 ○ 試験報告書 ○ 商品内容証明書</p>

1 塗 装 工 事

① 一般 事項	<p>○ 素地調整及び塗装工程は、共通仕様書による。</p> <p>○ 塗装業者は、日本塗装工業会会員とする。</p>
2 防 火 材 料	<p>・ 屋内の壁及び天井の仕上げは基材同等の認定のあるものとする。</p>
3 合成 樹脂 ・ エマルジョン ペイント 塗 装	<p>・ 浴室、脱衣室、便所、洗面所・湯満室の天井は一種(外部用)を用いる。</p>
4 マスチック 塗	<p>・ 種 類 : ・ マスチック A (外部用) ・ マスチック B (内部用) ・ マスチック C (内・外部用)</p>
5 特殊 塗 料	<p>・ 種 類 : ・ 天然珪酸系 防錆・防食塗料 ・ 使用箇所 : 屋根</p>
⑥ シックハウス対策	<p>○ 内部 塗装等 MSOSシート提出 ○ 試験報告書 ○ 商品内容証明書</p>

1 内 装 工 事

① 一般 事項	<p>○ 本工事に使用する材料は、JIS規格貨とする。但し特殊材料はこれ に準拠し前もって見本品を提出したり、見本張りを行い、係員の承認 を受けることとする。</p> <p>○ 本工事に使用する合板は図示なき限り、塗装下地の場合はシナ合板。 その他は、ラワン、等級は4級とする。又水廻りに使用する合板は タイプ1 耐水合板とする。</p> <p>○ 目隠し貼りの受付材は、特記なき限り、巾広の綿テープ張りを施す。</p>
② 合成 樹脂 系 床 材	<p>○ 種 類 : ・ 塩化ビニル系樹脂タイル ・ 半硬質 ・ 軟 質 ・ ホモジニアス ○ 塩化ビニル系樹脂シート ・ 軟 質 ・ ホモジニアス ○ 織布積層 ・ ゴムタイル ・ ゴムシート ・ その他 (</p>
3 フローリソグ 材	<p>・ 種 類 : ・ モザイク ・ パークेट ・ フローリング ・ その他 (</p> <p>・ 材 質 : ・ ナラ ・ ブナ ・ サクラ ・ その他 (</p>
4 カーベツト	<p>・ 種 類 : ・ ウィルトンカーベツト ・ コードカーベツト ・ パンチカーベツト ・ その他 (</p> <p>・ 下 地 : ・ 無 ・ 有 (フェルトクッション () mm)</p> <p>・ 工 法 : ・ 接着張り ・ 両面粘着テープ張り ・ グリッパ工法 ・ その他 (</p>
5 畳	<p>・ 種 類 : ・ 本 畳 ・ ビニール畳 ・ スタイル畳</p> <p>・ 特殊畳床 : ・ 無 ・ 有</p>
6 特 殊 合 板	<p>・ 種 類 : ・ 天然木化粧合板 ・ メラミン化粧合板 ・ 特殊加工合板 ・ ポリエステル化粧合板 ・ プリント合板 ・ その他 (</p>
7 吸 音 板	<p>・ 岩綿吸音板 : ・ 下 地 ・ 木製軸組 ・ 石膏ボード厚9.5mm ・ 軽鉄下地 ・ その他 (</p> <p>・ 穴あき石膏ボード : ・ 厚 () mm ・ 穴あきフレキシブルボード : ・ 厚6.0mm ・ 厚5.0mm ・ 炭酸マグネシウム板 : ・ 厚 () mm</p>
⑧ 壁 装 材	<p>・ 紙製品 : ・ () 級以上 ・ 布製品 : ・ () 級以上 ○ ビニル製品 ○ (重産品) 級以上</p>
⑨ 石膏 其 他 の 板 張 り	<p>○ 石膏ボード : ○ 厚 (9.5) mm厚 (12.5) mm ○ 化粧石膏ボード (グアツト) : ○ 厚 (9.5) mm ○ 石膏セメント : ・ 厚 () mm ○ 石膏ケイ酸カルシウム板 : ・ 厚 (6) mm ・ その他 (</p>
⑩ 断 熱 材	<p>・ フォームポリスチレン : ・ 厚 (50) mm ・ ロックウール : ・ 厚 () mm ○ グラスウール : ○ 厚 50 mm</p>
1 1 既 装 間 仕 切	<p>・ 表面材および仕上げ : ・ 鋼板 厚さ0.8mm以上十樹脂塗装ある いは樹脂積付塗装 ・ その他 (</p> <p>・ 工 法 : ・ スタッド式 ・ パネル一体式 ・ パネル分割式</p>
1 2 そ の 他	
1 3 シックハウス対策	<p>○ MSOSシート提出 ○ 試験報告書 ○ 商品内容証明書</p>

1 雑 工 事

① 室 名 札 附 設 表 示	<p>○ 材 質 : ・ プラスチック ・ ステンレス ・ アルミ ○ その他 (7A) 組合板</p> <p>○ 文字型式 : ・ 書き文字 ・ 彫文字 ・ 透文字 ・ 抜き文字 ・ その他 (切り文字)</p> <p>・ 文字材質 : ・ 地と同質 ・ シルクスクリーンエナメル ・ その他 (</p>
2 郵 便 受	<p>・ 材 質 : ・ ステンレス ・ 鋼板 ・ その他 (</p> <p>・ 型 式 : ・ 個別型 ・ 集合型</p>

3 黒板 掲 示 板	<p>・ 材 質 : ・ スチール ・ アルミ ・ ホーロー鋼板 ・ その他 (木 製)</p> <p>・ 枠 状 : ・ アルミ ・ スチール ・ 木製 ・ 平面 ・ 曲面 ・ 上げ下げ式</p> <p>・ 寸 法 : ・ 映写スクリーン内設置 ・ W () mm × H () mm</p>
4 屋 上 丸 環	<p>・ 材 質 : ・ 亜鉛メッキ ・ ステンレス ・ その他 (</p>
5 非 難 器 具	<p>・ 型 式 : ・</p> <p>・ 材 質 : ・</p>
6 消 火 マ ッ ト	<p>・ 材 質 : ・ ステンレス (枠・ステンレス) ・ 硬質アルミ (枠・アルミ) ・ ビニールあるいはゴム製 (枠・硬質アルミ)</p>
7 可 動 間 仕 切	<p>・ 種 類 : ・ アコーディオンドア ・ ルーバードアー ・ パネルパーティション ・ その他 (</p> <p>・ 材 質 : ・ 木製 ・ ビニールクロス仕上 ・ 焼付塗装 ・ 化粧板 ・ その他 (</p>
8 カーテン レール	<p>・ 材 質 : ・ ステンレス ・ アルミ ・ プラスチック ・ その他 (</p> <p>・ 型 式 : ・ シングル ・ ダブル ・ その他 (</p>
9 ブラインド	<p>・ 材 質 : ・ ステンレス ・ アルミ ・ プラスチック ・ 布製 ・ 型 式 : ・ たる型 ・ よこ型 (スラット巾 : () mm)</p>
⑩ 流 し 台	<p>○ 種 類 : ○ 既製品 ・ 特注 ・ その他 (</p>
1 1 浴 槽	<p>・ 材 質 : ・ FRP ・ ポリエステル ・ ホーロー ・ ステンレス</p>
1 2 旗 竿 金 物	<p>・ 材 質 : ・ ステンレス ・ アルミ ・ スチール</p>

2 外 構 工 事

1 一般 事項	<p>・ 工事範囲等は設計図による他、係員の指示によるものとする。</p>
2 舗 装	<p>・ 種 別 : ・ アスファルト舗装 (・ 混合式 ・ 浸透式) ・ コンクリート舗装 (・ 有筋 ・ 無筋 ・ 溶接金網入 ・ 砂利間舗装 : ・ 切込砂利 () mm ・ 撒布砂利 () mm</p>
3 フェンス	<p>・ 種 別 : ・ ネットフェンス ・ エキスパンドメタルフェンス ・ その他 (</p> <p>・ 高 さ : ・ H = () mm</p> <p>・ 仕 上 : (</p>
4 塀	<p>・ 種 別 : ・ 万代塀 ・ コンクリートブロック塀 ・ その他 (</p> <p>・ 高 さ : ・ H = () mm</p> <p>・ 仕 上 : (</p>
5 境 界 石	<p>・ 型 式 : ・ 歩車道境界用既設ブロック ・ その他 (</p>
6 敷 地 内 排 水 溝	<p>・ 種 別 : 溝 ・ 既製U字側溝 ・ 既製U字側溝 ・ 現場打コンクリート溝 ・ その他 (</p> <p>蓋 : ・ コウクリートブロック製 ・ 鉄製 ・ その他 (</p>
7 植 栽	<p>・ 植 栽 : 風除け支柱の種類 ・ 三脚 ・ 四脚 ・ 鳥居形 ・ 補償期間 : 新植、移植および芝張りの補償期間 引渡し日より () 年間 ・ 芝張り : 種別 ・ 野芝 ・ 高らい芝 ・ その他 (</p> <p>客土 ・ 不要 ・ 要 () mm</p>

2 分 別 解 体 等 ・ 再 資 源 化 等 (建 設 リ サ イ ク ル 法 の 対 象 建 設 工 事)

1. 本工事は、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号以下「建設リサイクル法」という。）に基づき、分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。

なお、本工事における分別解体等・再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示しない以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

①分別解体等の方法

工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法（※）
工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	①仮設	<div>仮設工事</div> <div>□ 有 □ 無</div> <div>□ 手作業</div> <div>□ 手作業・機械作業の併用</div>
	②土工	<div>土工</div> <div>□ 有 □ 無</div> <div>□ 手作業</div> <div>□ 手作業・機械作業の併用</div>
	③基礎	<div>基礎工事</div> <div>□ 有 □ 無</div> <div>□ 手作業</div> <div>□ 手作業・機械作業の併用</div>
	④本体構造	<div>本体構造の工事</div> <div>□ 有 □ 無</div> <div>□ 手作業</div> <div>□ 手作業・機械作業の併用</div>
	⑤本体付属品	<div>本体付属品の工事</div> <div>□ 有 □ 無</div> <div>□ 手作業</div> <div>□ 手作業・機械作業の併用</div>
	⑥その他 ()	<div>その他の工事</div> <div>□ 有 □ 無</div> <div>□ 手作業</div> <div>□ 手作業・機械作業の併用</div>

※「分別解体等の方法」の欄については、該当がない場合は記載の必要はない。

②再資源化等をする施設の名称及び所在地

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所 在 地
コンクリート		
7A7B・7C7D		

※上記②については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。

なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。

ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りでない。

③受入れ時間

(有) 新築商事 : 午前 8時00分 ~ 午後 4時30分

④その他

2. 請負者は、分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、別添様式1により監督員に報告することとする。

- ・ 再資源化等が完了した年月日
- ・ 再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・ 再資源化等に要した費用

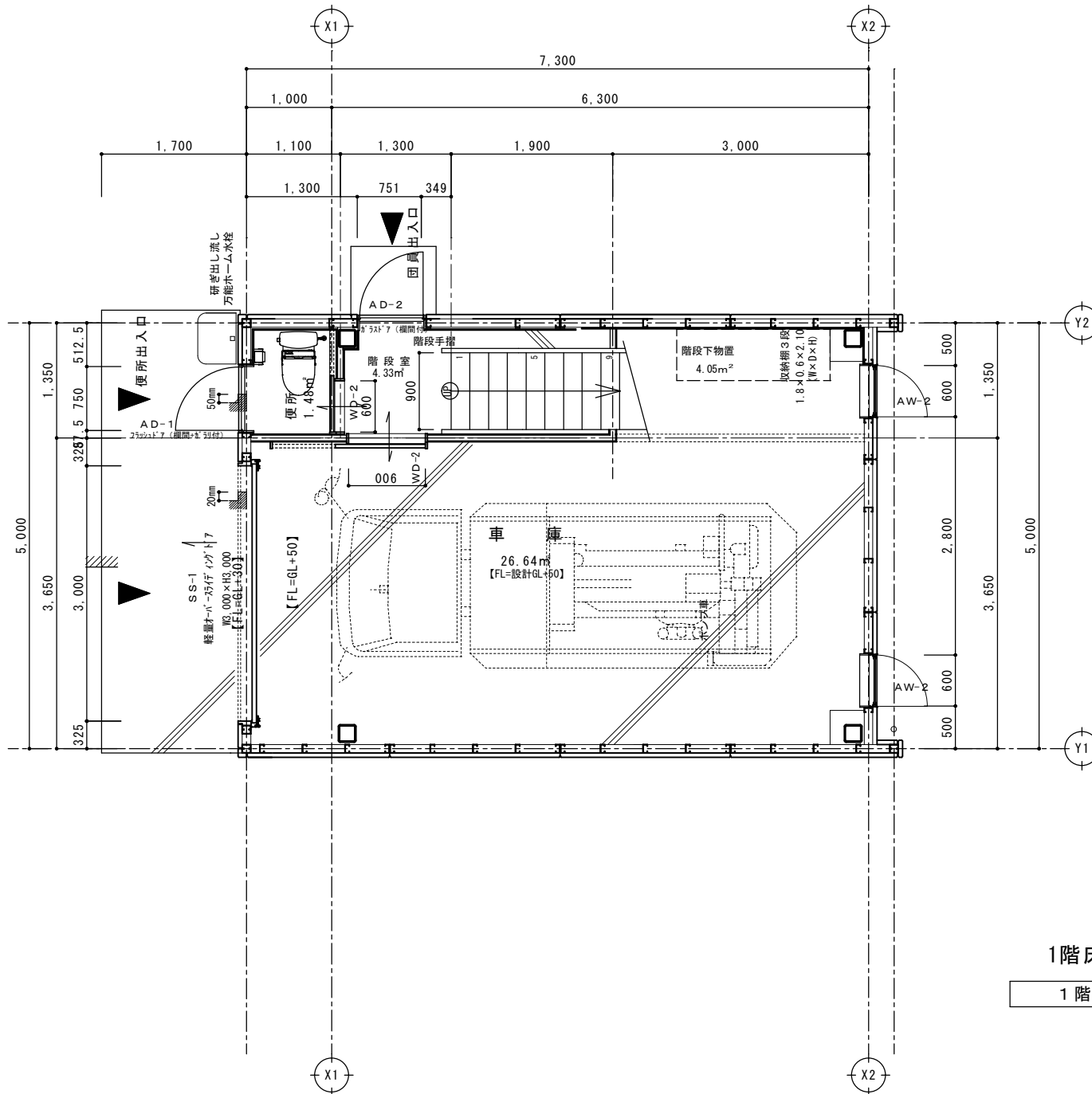
3. その他

工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は、監督員と協議するものとする。

2 2 室内空気汚染 (揮発性有機化合物) 対策

・ 監督職員と協議した対象室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指標値以下であることを確認し、監督職員に報告する	
測定物質 ※8A7B7C7D ※7A7B7C7D ※7A7C ※7A7D ※7B7C ※7B7D ※7C7D ※7D	
・ 測定場所 (室)	
測定法 : ・ 検知管法 ・ 検知紙法 ・ 定電位電解法 ・ 蛍光光度法	
※高濃度体積クロマトグラフ法 (ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド) 及び ガスクロマトグラフ法 (トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレン)	
採取方法 ※検数方式 (バツプス方式) ・ 吸引方式 (アクティブ方式)	
※木工用接着剤	接着剤に含まれている可塑剤は、難燃性のものとする。
※木材保存剤	非有機リン系とする。
※塗料材料	ホルマリン不抽出のもので、水性のものとする。
※内装工用接着剤	壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート幅木に使用する接着剤は、ホルマリン 不抽出のもので、水性のものとし、可塑剤は、難燃性のものとする。
(上記によりがたい場合は、監督員との協議による。)	

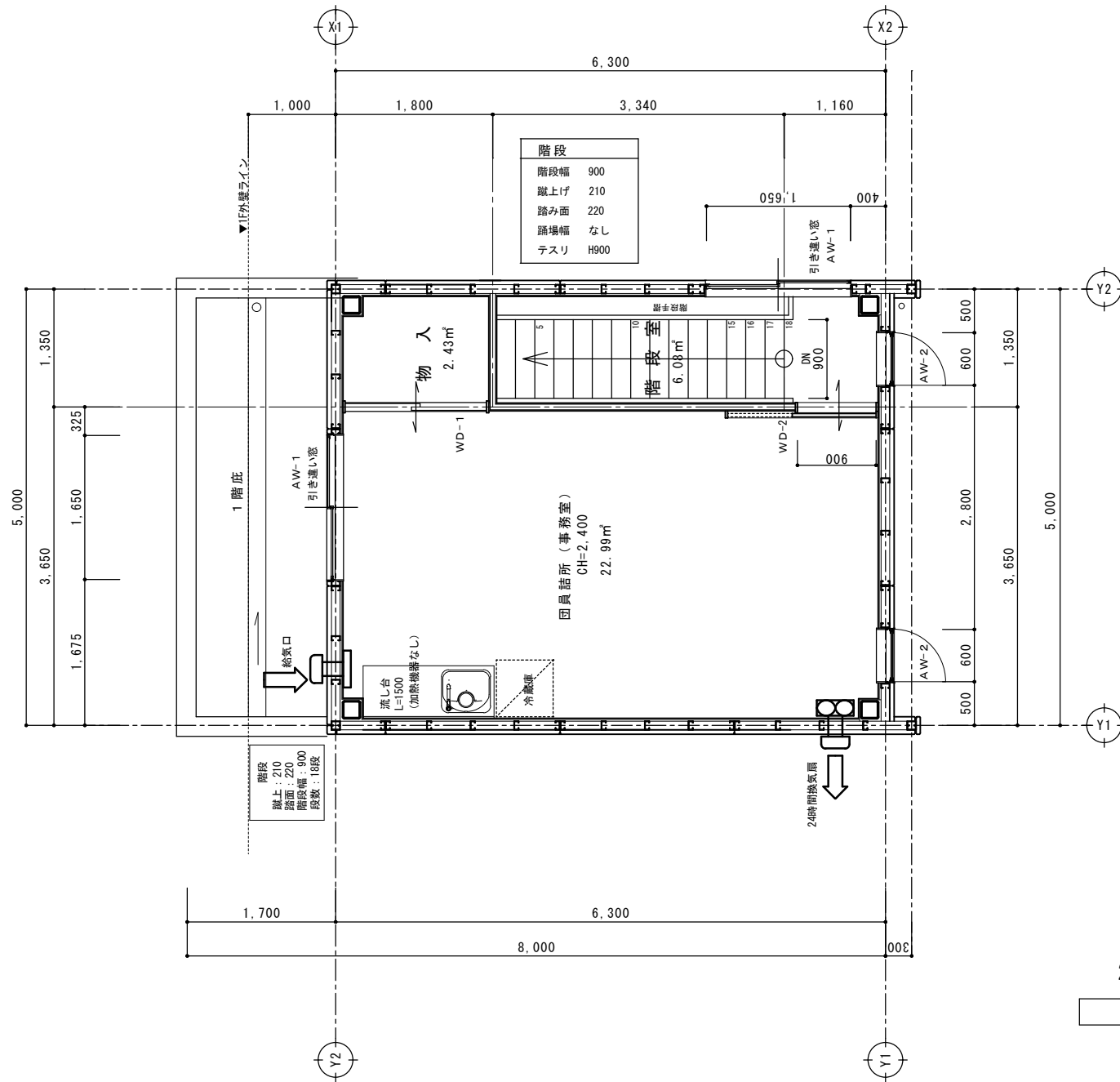
外部仕上げ表																					
部 位		仕 上						部 位		仕 上											
外 壁		ALC(7)50 複層仕上塗材E (アクリルタイル吹付)						屋根		ルーフデッキ H 8 5 t O . 6 (ガルバリウム塗装鋼板) NM-8697											
基礎立ち上がり		コンクリート打放し						庇		ルーフデッキ H 8 5 t O . 6 (ガルバリウム塗装鋼板) NM-8697											
横樋		塩ビ製 120口						外部建具		アルミサッシ (住宅用)											
タテ樋		塩ビ75φ用						シャッター		軽量オーバースライディングドア											
谷樋		谷コイルT=0.6 150×200						庇		アルミ形材製軽量庇 出幅：600mm 長さ：1200mm											
内部仕上げ表																					
階	室 名	床		巾 木			腰 壁 及 び 壁		廻り縁	天 井		天井高	壁 見 切	掲 示 板	ブ ラ イ ン ド BOX	ス ク リ ー ン BOX	カ ー テン BOX	造 作 家 具 設 備	付 属 器 具 等		
		仕上	厚	仕上	H	厚	仕上	厚		仕上	厚										
			厚				下地	厚		下地	厚										
1	車 庫									QLデッキ現し・鉄骨見出し		3,350									
		土間コンクリート金ごて仕上げ					外壁現し			SOP塗											
							階段側 石膏ボード NM-8619	12.5													
	階段下物置	土間コンクリート金ごて仕上げ					外壁現し			QLデッキ現し・鉄骨見出し		3,350					収納棚3段				
							階段裏のみ 石膏ボード QM-9828	9.5			9.5										
	便 所			モルタル	20		シージング石膏ボード	12.5					2,400								
土間コンクリート金ごて仕上			QM-9826						天井用化粧石膏ボード QM-0524	9.5											
			EP-G塗																		
1～2	階 段 室			塩ビ	60	5	石膏ボード NM-8619	12.5		QLデッキ現し・鉄骨見出し		3,350 (1階)									
		ビニール床シート (織布積層)	2.0				ビニールクロスQM-9412			SOP塗											
							(F☆☆☆☆)			天井用化粧石膏ボード (2階)	9.5	2,400 (2階)									
										QM-0524											
2	団員詰所 (事務室)			塩ビ	60	5	石膏ボード NM-8619	12.5				2,400						24時間換気扇 給気口			
		ビニール床シート (織布積層)	2.0				ビニールクロスQM-9412			天井用化粧石膏ボード QM-0524	9.5										
							(F☆☆☆☆)														
	物 置	ビニール床シート (織布積層)	2.0	塩ビ	60	5	石膏ボード NM-8619	12.5		石膏ボード QM-9828	9.5	2,400									
	図面変更								設計		茨城県下表市大字下妻丙47番地 軽 部 守 彦 一級建築士事務所登録 茨 市 (A) 2399号 (2507) 登録 第 207999 号 TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643				工事名 下表市消防団(第1分団1部)詰所新築工事				意匠No.		図面No.
								令和 7 年 4 月 日						下妻市消防団(第1分団1部)詰所新築工事						005	
								承認						図 面 名 内 外 仕 上 表				縮尺 -			



1階床面積：36.5㎡

1階平面詳細図 S=1/50

図面変更	設計	<div> 軽 部 建 築 設 計 事 務 所</div> <div>茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽 部 守 彦 一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (2507) 登録 第 20799号 TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643</div>	工 事 名 下妻市消防団 (第1分団1部) 詰所新築工事		意匠No. 構造 外構 電気 機械	図面No. 007
	令和 07 年 04 月 日					
	承認					
			図 面 名 1階平面詳細図	縮尺 1 / 5 0		



2階床面積：31.5m²

2階平面詳細図 S=1/50

図面変更

設計

平成 29 年 7 月 日

承認



軽部建築設計事務所

茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部 守彦

一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (2507)

登録 第 207999号

TEL 0296-44-3380

FAX 0296-44-5643

工事名

下妻市消防団(第1分団1部) 詰所新築工事

図面名

2階平面詳細図

縮尺

1/50

意匠No.

構造

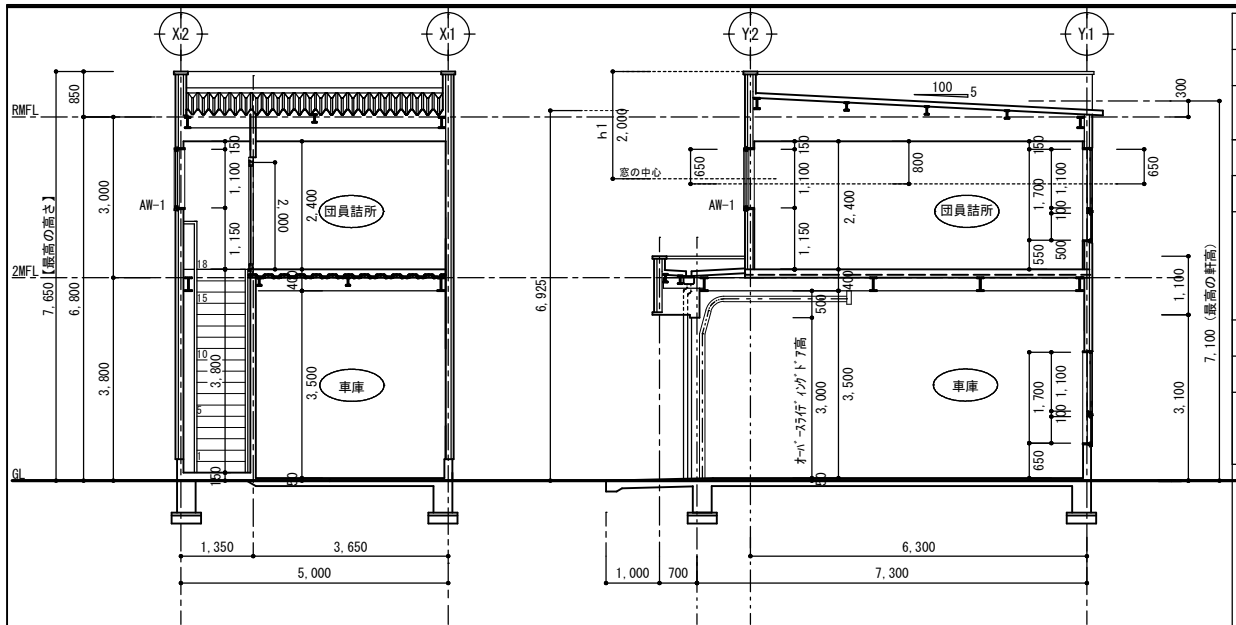
外構

電気

機械

図面No.

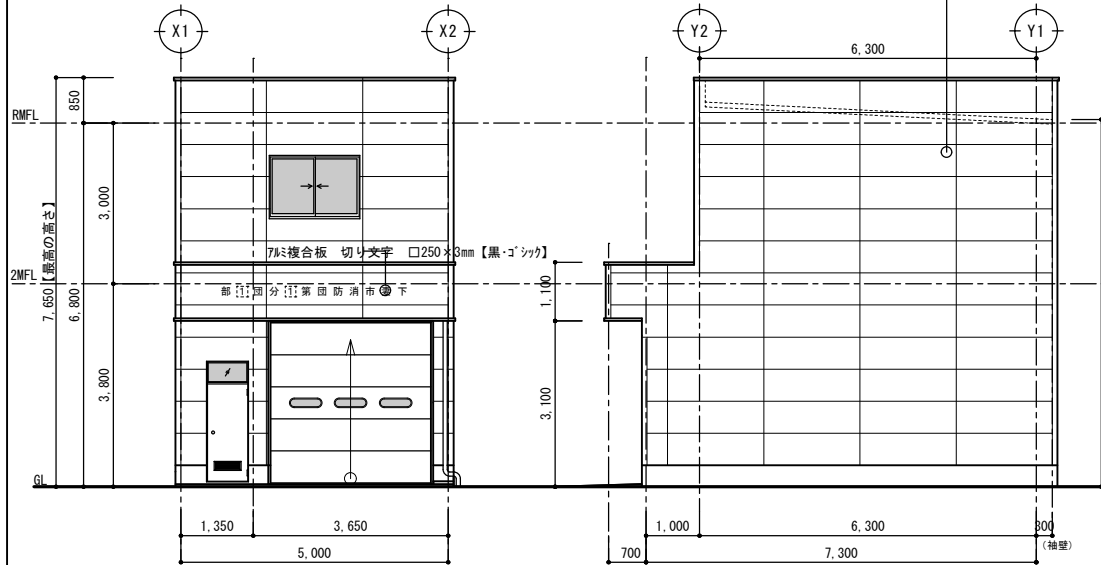
008



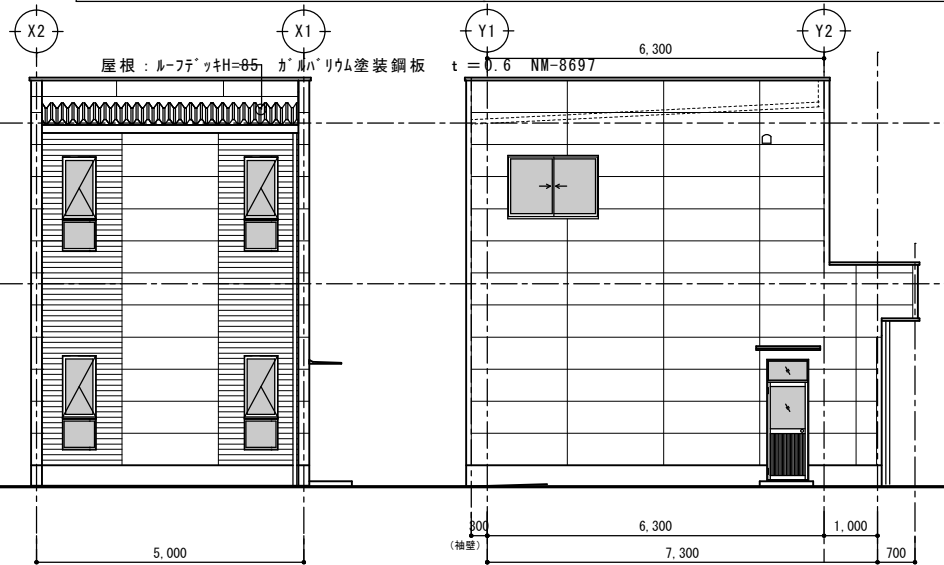
断面図 1 / 100

採光算定表							
階数	室名	床面積 (㎡)	a : 必要開口床面積 × 1/20	窓記号	窓の種類	b : 有効開口	判定
2 階	団員詰所	22.99	1.1495	AW-1	引違い窓	$1.65 \times 1.10 \times 1 \text{箇所} \times 3 \text{倍} = 5.445$	a < b OK
換気算定表							
階数	室名	床面積 (㎡)	a : 必要開口床面積 × 1/20	窓記号	窓の種類	b : 有効開口	判定
2 階	団員詰所	22.99	1.1495	AW-1	引違い窓	$1.65 \times 1.10 \times 1/2 \times 1 \text{箇所} = 0.907$	a < b OK
				AW-2	サッシ	$0.6 \times 1.10 \times 1 \text{箇所} = 0.66$	
合計 : 1.567							
排煙算定表							
階数	室名	床面積 (㎡)	a : 必要開口床面積 × 1/50	窓記号	窓の種類	b : 有効開口	判定
2 階	団員詰所	22.99	0.4598	AW-1	引違い窓	$1.65 \times 0.65 \times 1/2 = 0.536$	a < b OK
				AW-2	サッシ	$0.6 \times 0.65 = 0.39$	
合計 : 0.926							

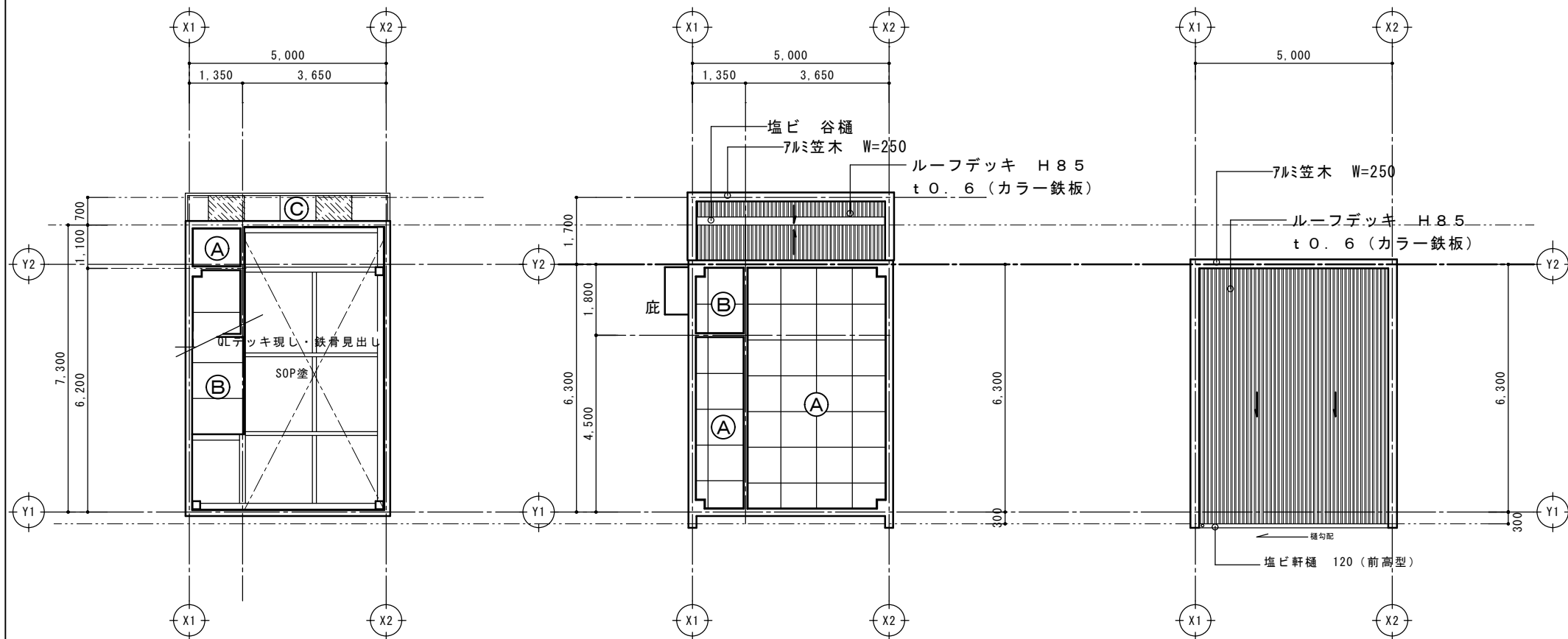
採光補正係数
 $d1 = 11.195\text{m}$ $h1 = 2.00\text{m}$
 $11.195/2.00 \times 6 - 1.4 = 32.185$ よって A=3 とする



立面図 1 / 100



図面変更	設計	<div> 軽 部 建 築 設 計 事 務 所</div> <div>茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽 部 守 彦</div> <div>一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (2507)</div> <div>登録 第 207999号</div> <div>TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643</div>	工 事 名		意匠 No.	図面No.
	平成 29 年 7 月 日		下妻市消防団 (第1分団1部) 詰所新築工事			
	承認		図 面 名	縮尺		
			立面図・断面図	1 / 100		

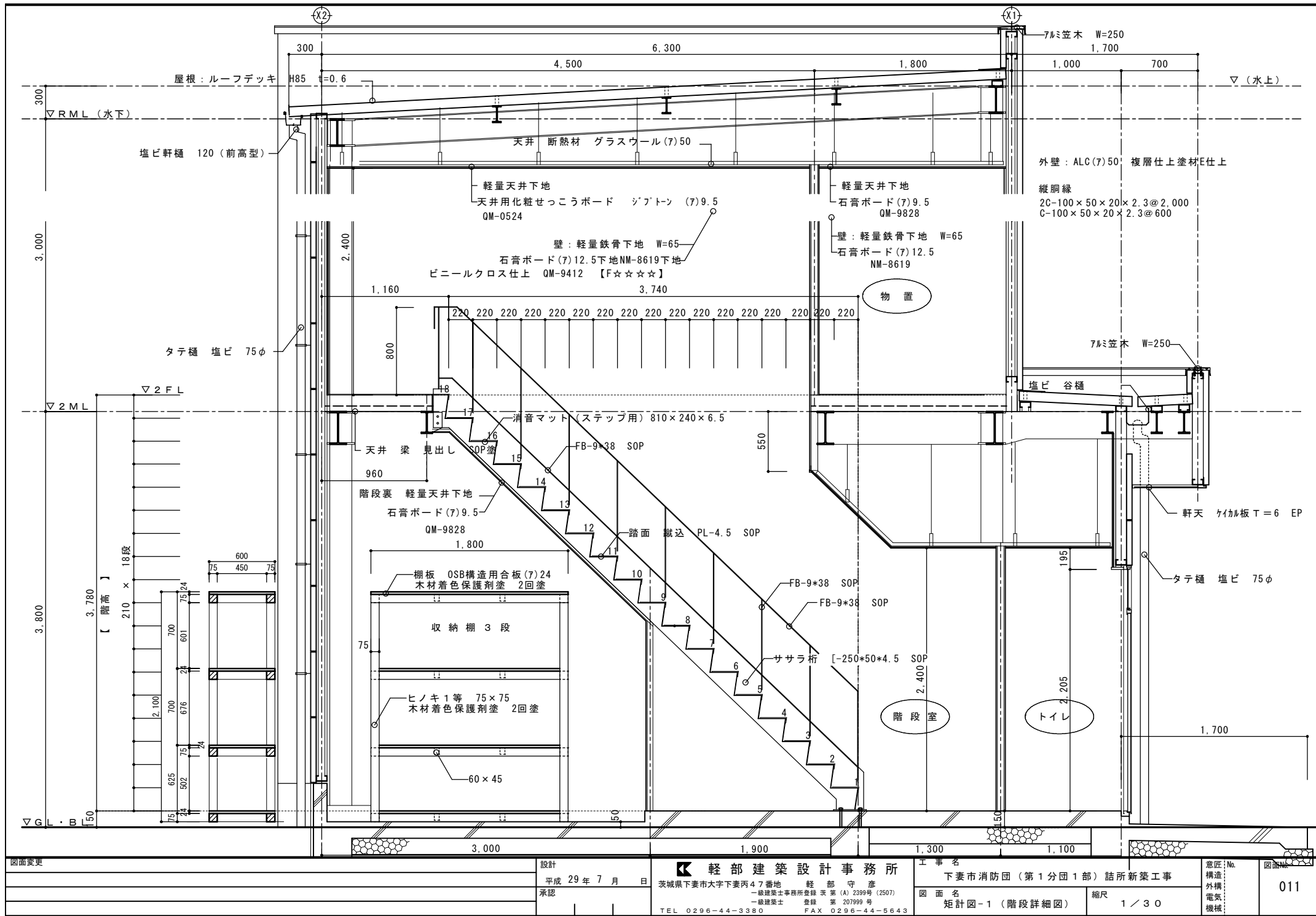


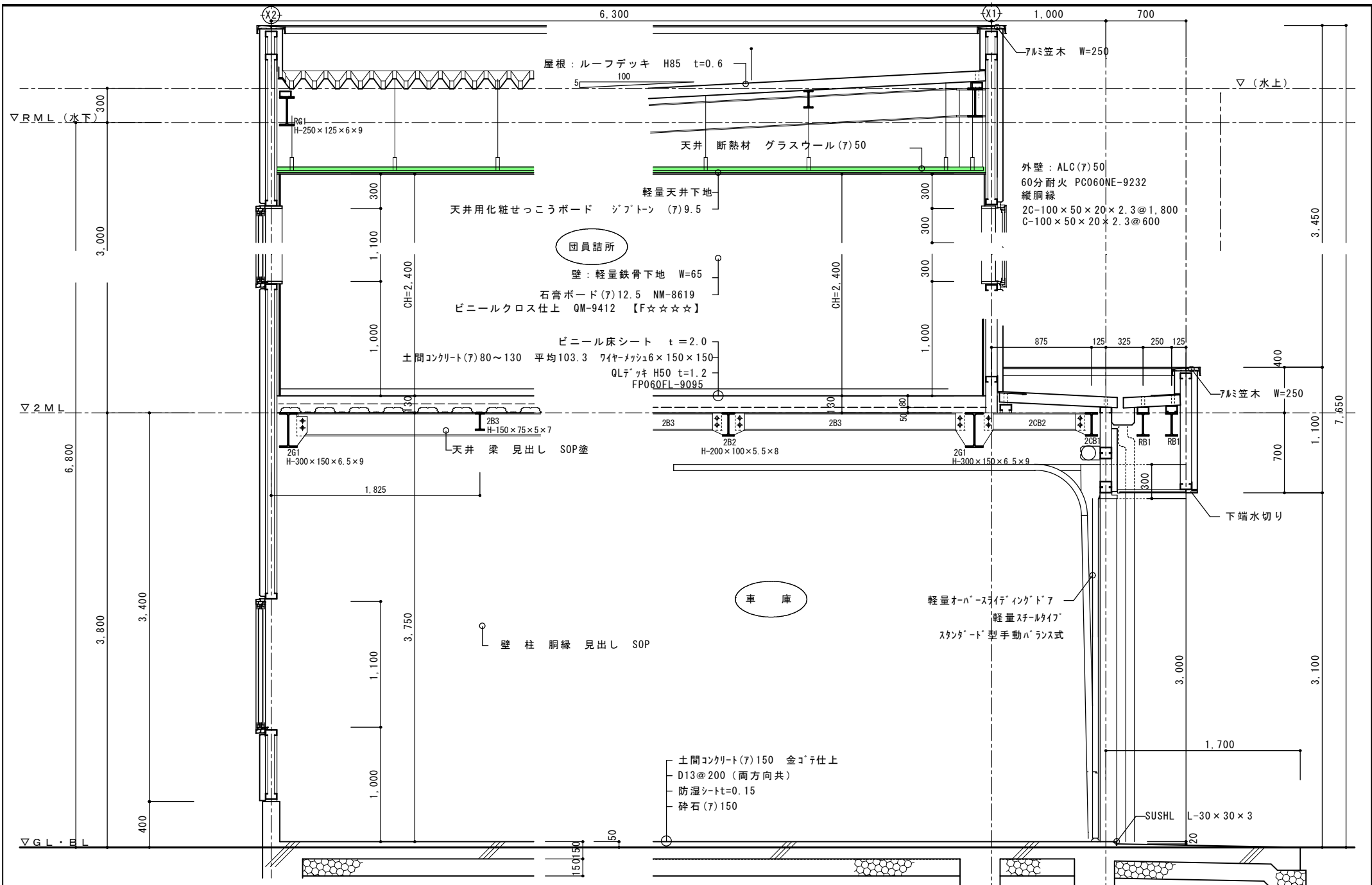
1 階天井伏図 S = 1 / 1 0 0

2 階天井伏図 S = 1 / 1 0 0

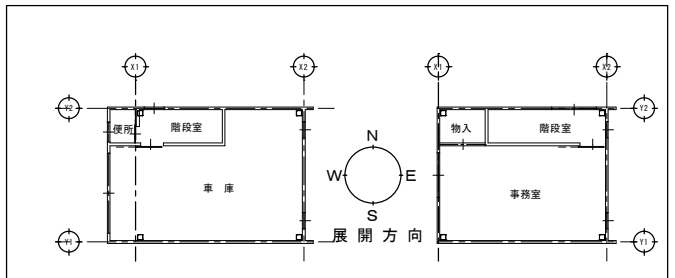
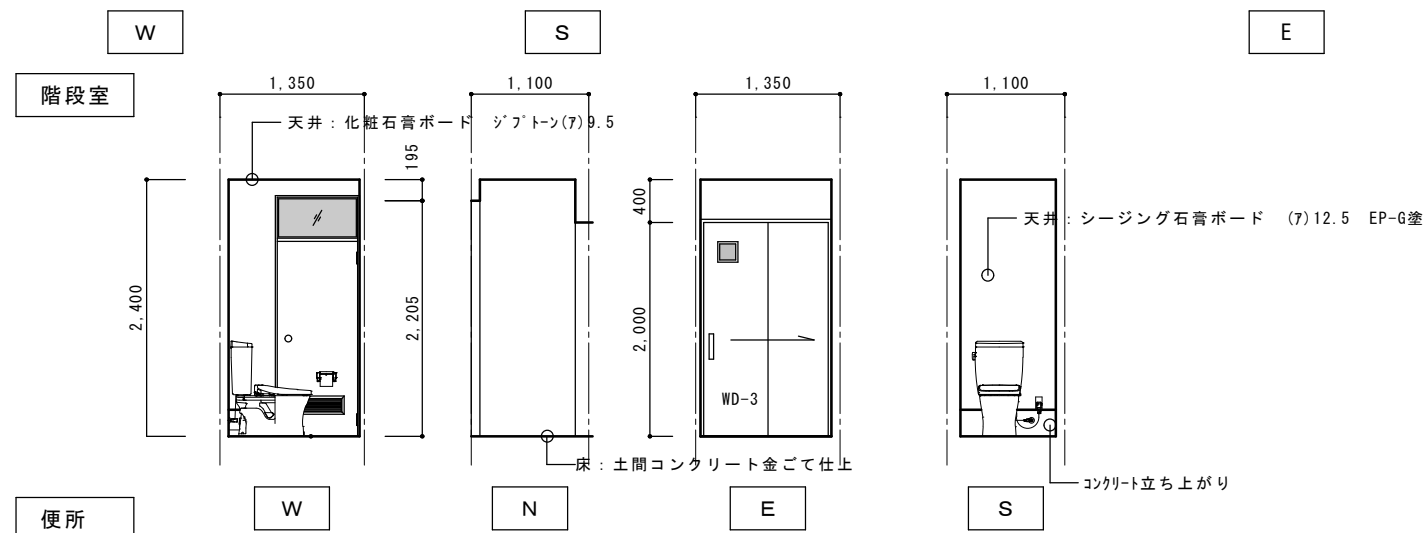
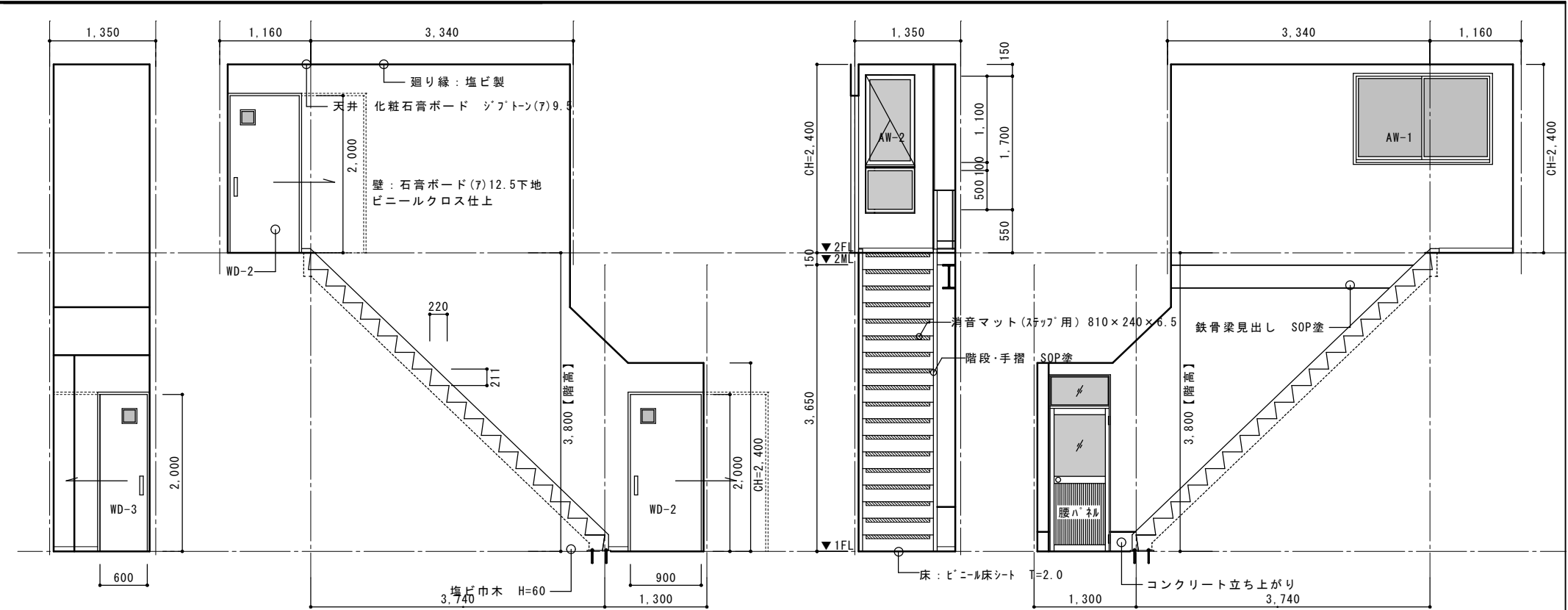
屋根伏図 S = 1 / 1 0 0

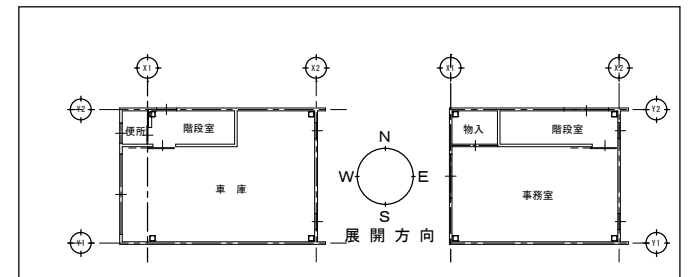
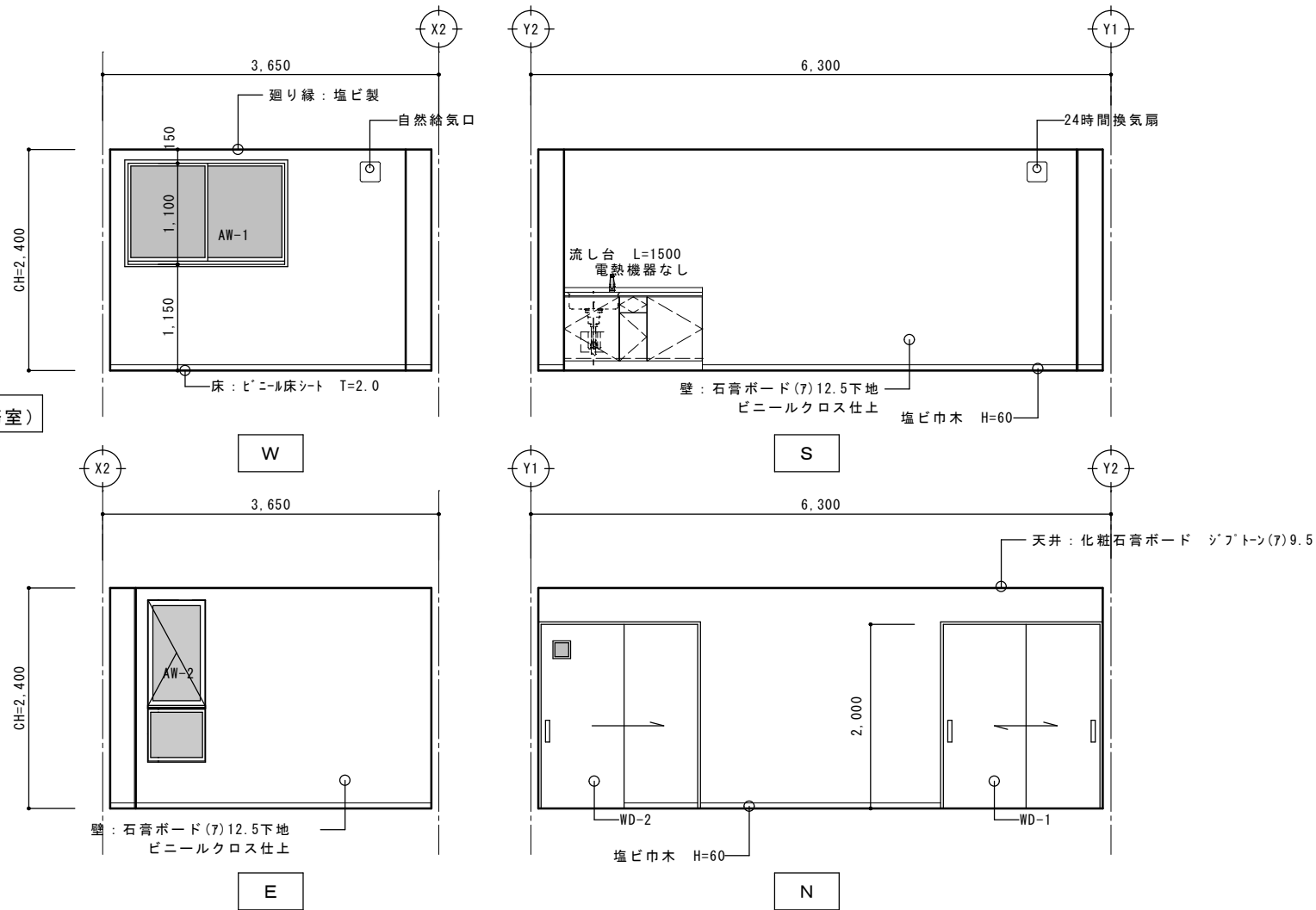
天井仕上げ表	
A	ジブトーン (ア) 9.5
B	石膏ボード (ア) 9.5
C	ケイカル板 (ア) 6 E P 塗 斜線部分 有孔ボード
<input checked="" type="checkbox"/>	点検口 450 x 450



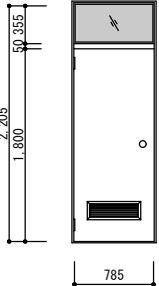
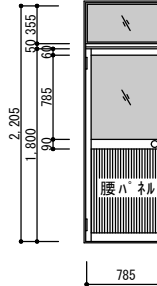
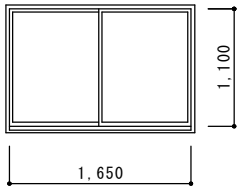
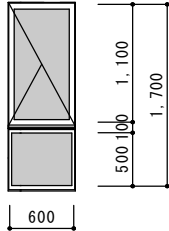
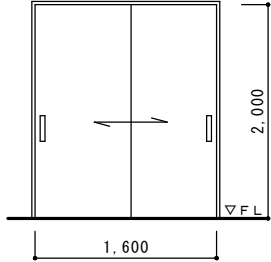
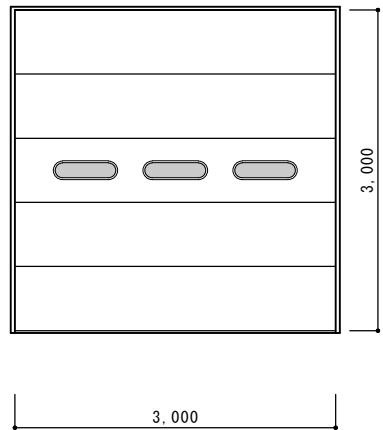





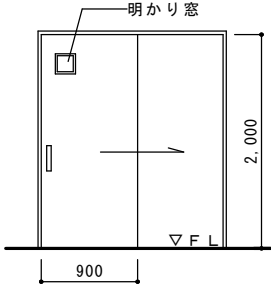
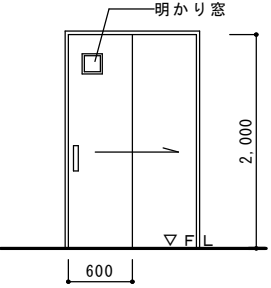




<div>図面変更</div> <div></div> <div></div> <div></div>	<div>設計</div> <div>平成 27 年 7 月 日</div> <div>承認</div>	<div>軽部建築設計事務所</div> <div>茨城県下妻市大字下妻丙 47番地 軽部守彦</div> <div>一級建築士事務所登録 茨第(A)2399号(2507)</div> <div>一級建築士 登録 第207999号</div> <div>TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643</div>	<div>工事名</div> <div>下妻市消防団(第2分団2部)詰所新築工事</div> <div>図面名</div> <div>矩計図-2</div> <div>縮尺</div> <div>1/30</div>	<div>意匠</div> <div>構造</div> <div>外構</div> <div>電気</div> <div>機械</div> <div>図面No.</div> <div>012</div>
---	--	--	--	---





図面変更	設計	軽部建築設計事務所 茨城県下妻市大字下妻丙47番地 一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (2507) 一級建築士 登録 第 207999号 TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643	工事名 下妻市消防団(第2分団2部) 詰所新築工事	意匠・No. 構造 外構 電気 機械	図面No. 014
	平成 29 年 7 月 日				
	承認				
			図面名 展開図(2階)	縮尺 1/50	

記 号	<div>AD1</div>	<div>AD2</div>	<div>AW1</div>	<div>AW2</div>	<div>WD1</div>	<div>SS1</div>
取 付 所	トイレ	階段室	階段室 事務室	車庫 事務室	事務所一物入	車 庫
数 量	1ヶ所	1ヶ所	2ヶ所	4ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
形 状 種 類 (開閉方法)	 汎用ドア (ロンカラーフラッシュドア ランマ・カバリ付)	 汎用ドア (ロンカラーガラスドア ランマ付)	 引き違い窓	 段窓 (ガラス+リ+FIX)	 引き違いフラッシュ戸	 軽量オーバースライディングドア スタンダード型 手動バランス式
扉、枠、皿板見込	住宅用 半外	住宅用 半外	住宅用 半外	住宅用 半外	木製 ポリ合板	
材 質	7mm	7mm	7mm	7mm		
金 物	 標準付属金物一式	 標準付属金物一式	 標準付属金物一式	 標準付属金物一式	 標準付属金物一式	
摘 要	握り玉仕様 ドアクローザ	握り玉仕様 ドアクローザ	網戸	開き網戸	上下レール 引き手	
塗 装						
ガ ラ ス	型板ガラス (7) 4.0	型板ガラス (7) 4.0	型板ガラス (7) 4.0	型板ガラス (7) 4.0		
記 号	<div>WD2</div>	<div>WD3</div>				
取 付 所	2階段室→団員詰所, 1階段室→車庫	2階段室→便所				
数 量	2ヶ所	1ヶ所				
形 状 種 類 (開閉方法)	 額付片引き戸	 額付片引き戸				
扉、枠、皿板見込	40	40				
材 質	木製 ポリ合板	木製 ポリ合板				
金 物	 標準付属金物一式	 標準付属金物一式				
摘 要	上下レール・床戸当り (振止付) 引き手	標示鍵・ケース鍵 (廊下側シリンダ-鍵) 上下レール・床戸当り (振止付) 引き手				
塗 装	額、小口 CL	額、小口 CL				
ガ ラ ス	スリガラス	スリガラス				
図面変更						
設計	平成 29 年 7 月 日					
承認						
軽 部 建 築 設 計 事 務 所						
茨城県下妻市大字下妻丙 4 7 番地 軽 部 守 彦						
一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399 号 (2507)						
一級建築士 登録 第 207999 号						
TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643						
工 事 名						
下妻市消防団 (第 1 分団 1 部) 詰所新築工事						
図 面 名						
建具表・建具位置図						
縮 尺						
1 / 5 0						
意匠 No.						
構造						
外構						
電気						
機械						
図面 No.						
015						

016

鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

1. 一般事項

(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d…異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸筋では D…部材の径 R…半径
e…中心線 e'…中心線 e''…部材間の内法距離 h…部材間の内法距離
S T…あばら筋 HOOP…巻筋 S HOOP…巻筋 d…直交する丸筋

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ厚・壁面の鉄筋部材またはスタッドと同時に打ち込む形および折曲げのキャプタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の長さ	4 d 以上	6 d 以上 (8 d 以上)	8 d 以上 (8 d 以上)	
折曲げの内法寸法内は、S R235、S295A、S D295A、S D295B、S D345の D 16 以下は、3 d 以上、D 19 以上は 4 d 以上				※片側スラブ上端筋の場合

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ角の内法寸法 (R)
	巻筋	SR235、S295A、S295B、S345	16φ D 16 以下	35φ以上
	あばら筋 スパイラル筋	SR235、S295A、S295B、S345	19φ D 19 以上 16φ D 16 以下	4 d 以上
	上記以外の鉄筋	SR235、S295A、S295B、S345	19φ～25φ D 19～D 25 28φ～32φ D 28～D 32	6φ以上 8φ以上

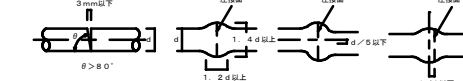
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	巻筋、軽重コンクリートの設計基準強度の範囲 (N/mm ²)	定着の長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ (L1)
		一般 (L2)	下地筋 (L3)	
SR235	21～36	35d フックつき	25d フックつき	35d フックつき
S295A	21～36	35d または 35φ フックつき	25d または 10d かつ 30φ フックつき	45φ フックつき
S295B	18以下	40d または 30φ フックつき	15d フックつき	45φ または 35φ フックつき
S345	18以下	30φ フックつき	15d フックつき	35φ フックつき

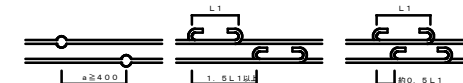
継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直交する異なる鉄筋の重ね継手長さは、縦方向の鉄筋の継手長さとする
- D 29φ以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



圧接継手



(4) かぶり厚さ (単位: mm)

部 位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
屋根スラブ	30	30(20)
床スラブ	40(1)	30(20)
柱	40	30
梁	50(2)	40(17)(30)
階板	50(3)	40
柱・梁・床スラブ・階板	50	40(14)
基礎・地盤	70	40(14)

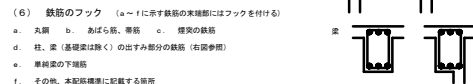
- [注] (1) 耐火性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて3.0mmとすることができる。
(2) 耐火性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて4.0mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法に同じ、工事監理者の承認を受けて4.0mmとすることができる。
(4) 軽重コンクリートの場合は、1.0mm増しの値とする。
(5) () 内は仕上げがある場合、改定により標準かぶり厚さは1.0mm増し

(5) 鉄筋のあき

丸筋では、異形鉄筋では呼び名に用いた数値 1. 5 d 以上
巻筋の最大寸法の 1. 2 倍以上かつ 2. 5 以上

(6) 鉄筋のフック (a～1に示す鉄筋の実施時にはフックを付ける)

- 丸筋
- あばら筋、巻筋
- 巻筋の鉄筋
- 柱、梁 (基礎を除く) の出き部分の鉄筋 (右図参照)
- 単純梁の下地筋
- その他、本配筋標準図に記載する箇所

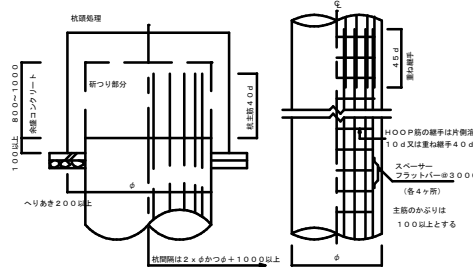


3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途設計すること。)

(1) PC杭、又はPHC杭の全てに鉄筋を打付

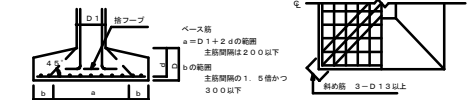
所定の位置に止まった場合	所定より低く止まった場合
杭 径 300φ、350φ、400φ	450φ、500φ、600φ
補 強 筋 6-D13、8-D13	10-D13、8-D16、10-D16
HOOP	D10～D150

(2) 現場打ちコンクリート杭

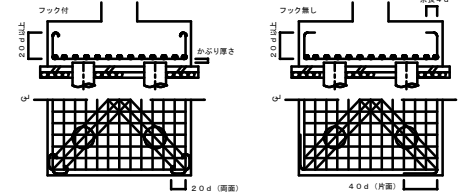


4. 基礎

(1) 直接基礎



(2) 杭基礎

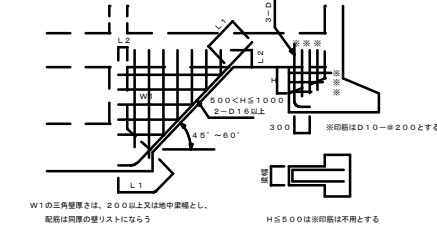


(3) ベタ基礎

ハンチを付けた基礎 (a≧3)

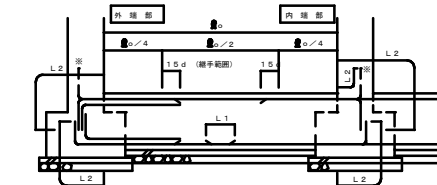
- 配筋位置はスラブ位置は床スラブにならう
但し上部と下部を換えかえる
- の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする
- の鉄筋はD13以上
- 埋戻し土のある場合は40を70とする

(4) 基礎接合部の補強

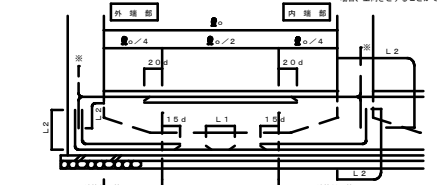


5. 地中梁

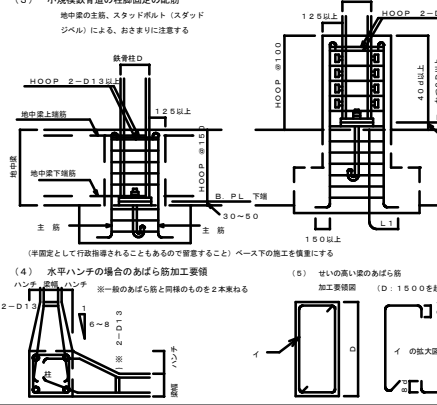
(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)

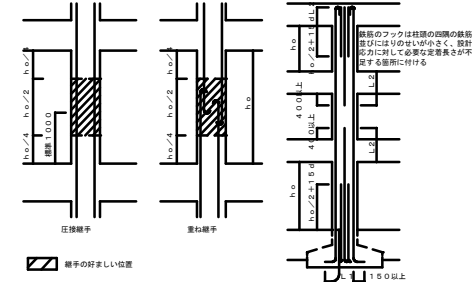


(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

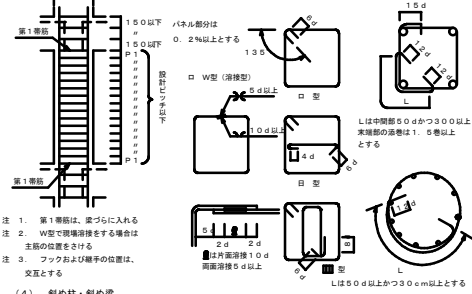


6. 柱

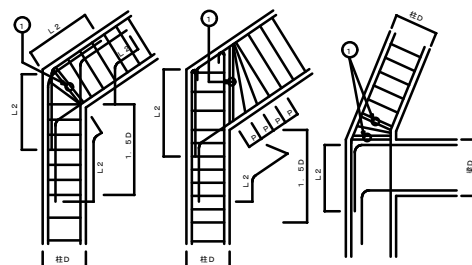
(1) 柱主筋の継手



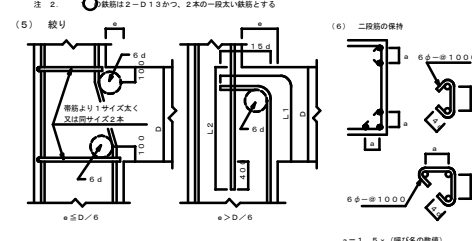
(2) 柱主筋の定着



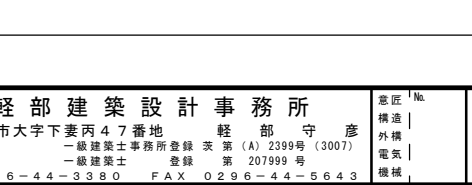
(3) 帯筋



(4) 斜め柱・斜め梁



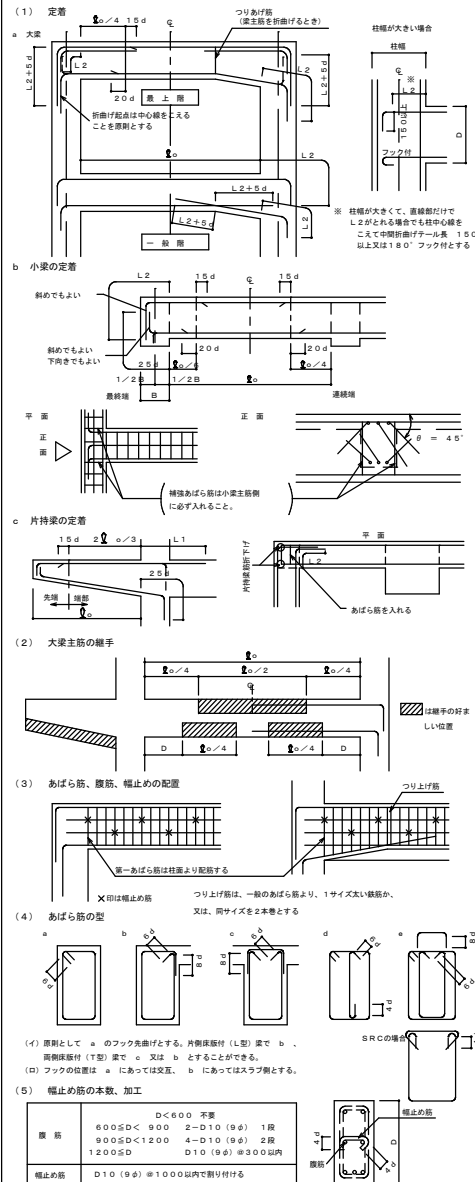
(5) 絞リ



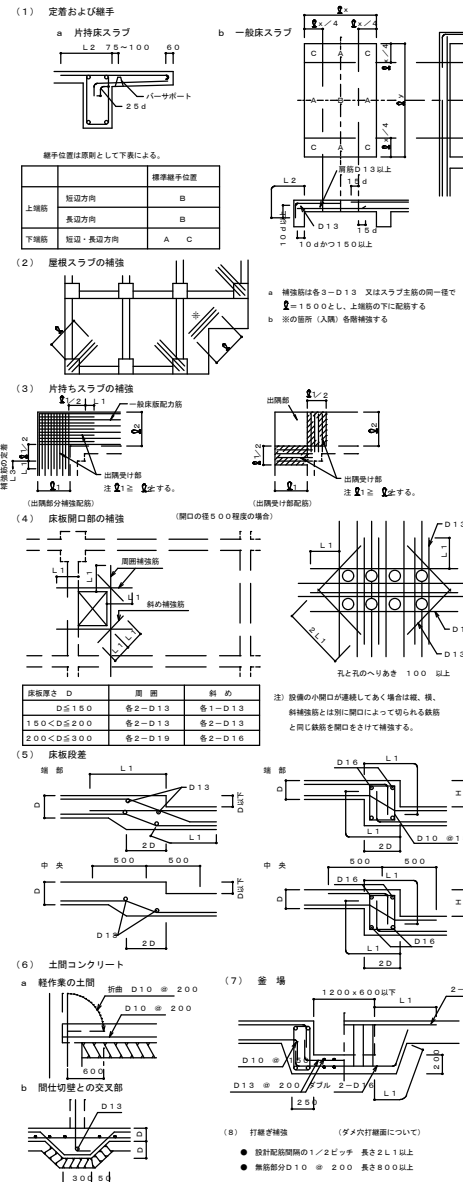
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋
標準図(1)の2-(3)による。

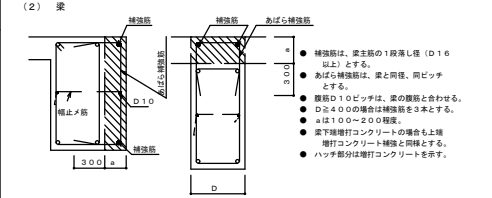
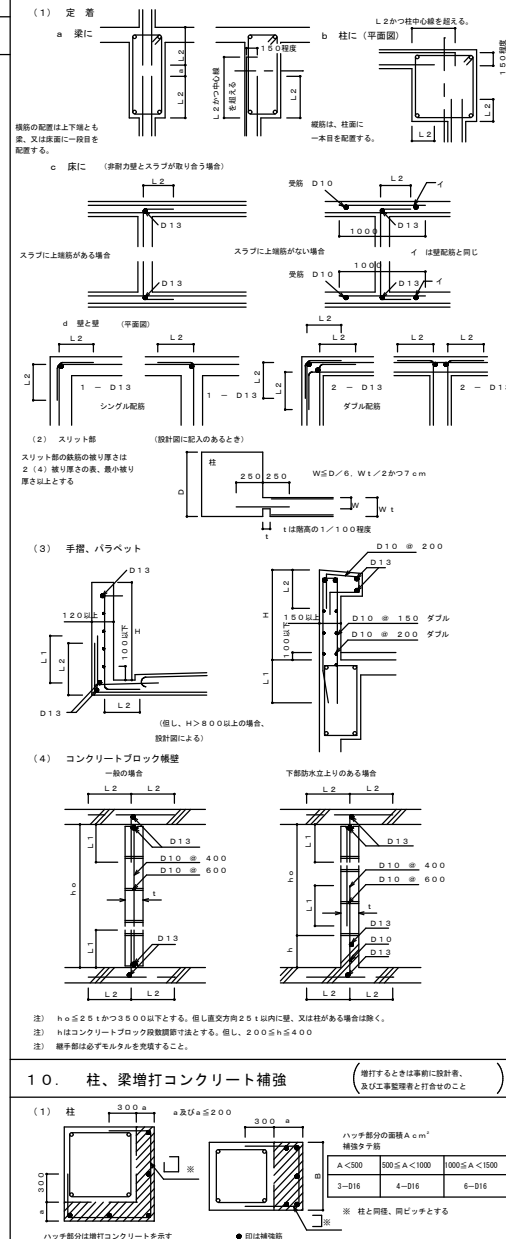
7. 大梁、小梁、片持梁



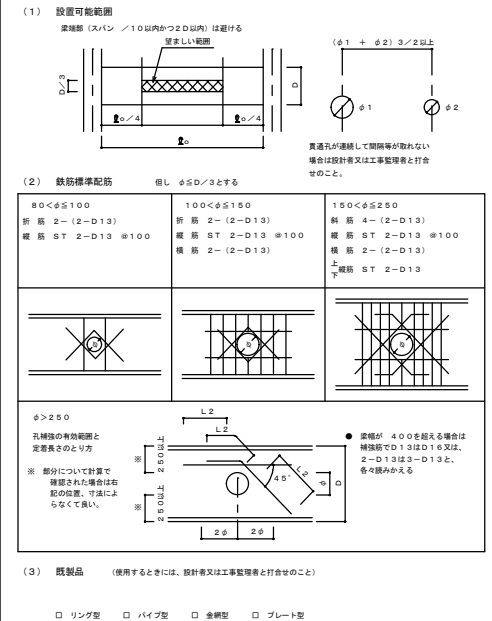
8. 床板



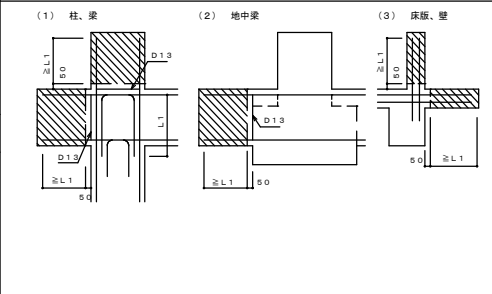
9. 壁



11. 梁貫通孔補強



12. 増築予定



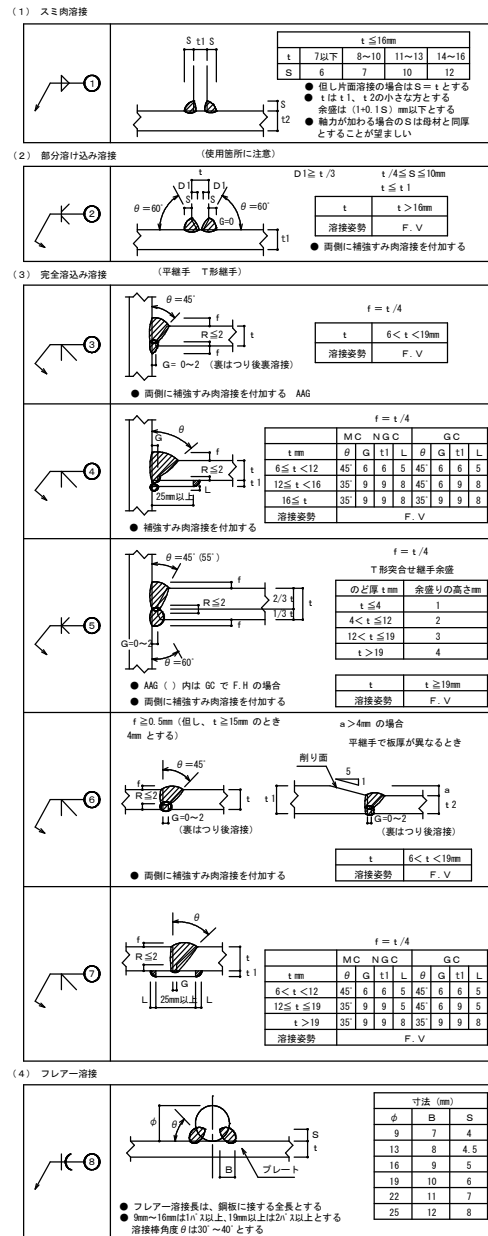
鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
(a) 構造設計仕様による
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
(a) 鉄骨製作及び施工に先立つて「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
(b) 鋼管部材の分岐継ぎ手部の相互間又は、鋼管自動切断機による
(c) 高強度鋼の歪矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
(a) 本図に使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
- (4) 溶接接合
(a) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適用する JIS S 3801 (手溶接) 又は JIS S 3841 (半自動溶接) の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
(b) 溶接機器
(i) 交流アーク溶接機 300A~500A (c) 試験ガスアーク半自動溶接機
(ii) アークエアークウガウジグ機 (直流) (d) 溶接電流を測定する電流計
(iii) サーマージアーク溶接機 1式 (e) 溶接棒乾燥機
(c) 溶接方法
アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
セルフ (ノンガス) シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアークウガウジグ (AG)
(d) 溶接姿勢
- (e) 仮付溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
(f) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける
- (g) 溶接施工
(i) エンドタイプ
I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
II エンドタブの材質は、母材と同質とする
III エンドタブの長さは、MC: 35mm 以上
NGC、GC: 40mm 以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm 程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
IV プレス鋼版タブ、図形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る
(ii) 表あて金
材質母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm 以上とする
(iii) スカーラップ 半値は 30~35mm と、10mm のダブルアールとする
(iv) ノンスカーラップ工法
(v) 表はつり
接合部の溶接において AG と記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
(vi) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためないように、養成を行う
- (5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートの接合面、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接規準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)





角形鋼管

F値295N/mm²以下
□-150×150 ~ □-300×300 用

(財)日本建築センターによる一般評定「BCJ評定-ST0093-16」(平成28年9月16日付)

ベースパック柱脚工法 設計標準図

設計
施工

●ベースパック柱脚工法の設計は「ベースパック柱脚工法設計ハンドブック」による。

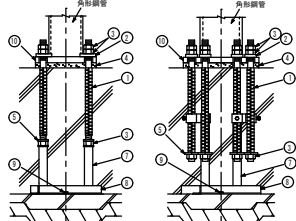
岡部株式会社
TEL03 (3624) 5336

旭化成建材株式会社
TEL03 (3296) 3515

2017年5月作成

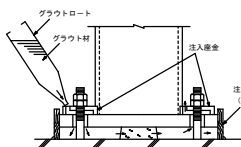
1. 工法概要

1. 1 構成部材



- ① アンカーボルト
② 鉄筋
③ Mナット
④ ベースパックグラウト(グラウト材)
⑤ 基礎層
⑥ テンプレート
- ⑦ フレームポスト
⑧ フレームベース
⑨ チコンアンカー
(コンクリートアンカー)
⑩ ベースプレート
- (注) ①と②、③と④は現場で組み立てられる。
(注) ⑤と⑥は現場で組み立てられる場合がある。

1. 2 柱脚の定着方法概要



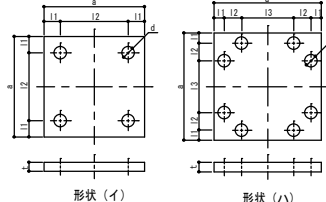
2. 柱

F値(N/mm ²)	鋼種	採用
235	BCP235 STKR400	
295	BCR295 TSC295	

3. 構成部材・寸法

3. 1 ベースプレート

●材質
SN490B [JIS G 3136]



形状 (I)

形状 (H)

3. 3 Mナット

【建築基準法第37条第2号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	A	B	(a)
M27	22	41	47
M30	24	46	53
M33	26	50	58
M36	29	55	64
M39	31	60	69

3. 4 定着座金

i) アンカーフレーム Aタイプの場合

呼び	e1	t	d	材質
M27	55	9	28	SS400
M30	55	9	31	
M33	60	9	34	
M36	65	12	37	
M39	80	12	40	

ii) アンカーフレーム Cタイプの場合

呼び	e1	e2	t	d	材質
M30	55	168	9	32	SS400
M33	60	173	9	35	
M36	65	178	9	38	

3. 5 注入座金

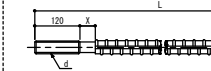
【建築基準法第37条第2号に基づく国土交通大臣認定材料】

記号	呼び	a1	a2	c	t	d
PR27	M27	32	42	101	18	28
PR30	M30	32	42	101	18	31
PR33	M33	35	45	110	18	34
PR36	M36	35	45	110	18	37
PR39	M39	38	48	118	18	40

3. 2 アンカーボルト (Mアンカーボルト)

【建築基準法第37条第2号に基づく国土交通大臣認定材料】

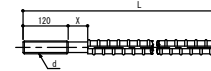
i) アンカーフレーム Aタイプの場合



呼び	呼び	L	X	b	単位 mm
M27	D29	650	45	128	490
M30	D32	695	45	133	490
M33	D35	690, 735	45	95, 140	490
M36	D38	710	60	130	490
M39	D41	730, 810	60	96, 135	490

注1) 据付け高さが低い場合に短いアンカーボルトを使用する。

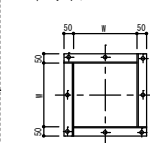
ii) アンカーフレーム Cタイプの場合



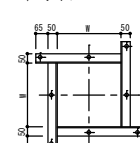
呼び	呼び	L	X	単位 mm
M30	D32	695	45	490
M33	D35	720	45	490
M36	D38	770	60	490

3. 6 フレームベース

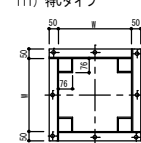
i) Aタイプ



ii) Cタイプ



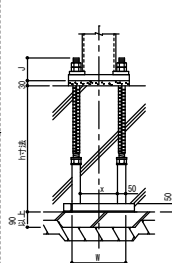
iii) 特Cタイプ



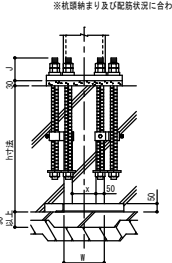
3. 7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ (h寸法) はフレームベース下端からコンクリート柱型天端までを示す。据付けに最低必要な高さ (最低h寸法) は下表に記載の値とする。

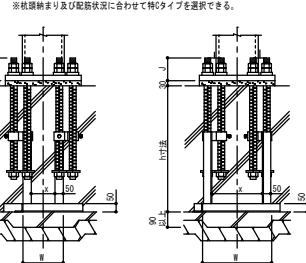
< Aタイプ >



< Cタイプ ※ >



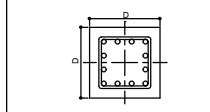
< 特Cタイプ >



4. コンクリート柱型

4. 1 形状・材質

●形状
柱型寸法を標準から変更する場合は、別紙「ベースパック柱脚工法における柱型寸法最大・最小値一覧」による。



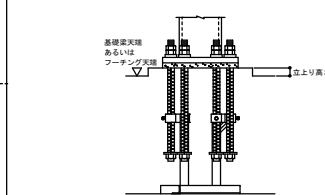
●コンクリート
普通コンクリートとし、設計基準強度は21N/mm²以上とする。

●鉄筋
SD295 (D13, D16)
SD345 (D19, D22)

4. 3 基礎立上がり

●基礎立上がり高さは50mm以下とする。

※ただし基礎立上がり高さが50mmを超え300mm以下の場合、Lシリーズを使用することができる。



5. 工場製作 (溶接)

■組立

●ベースプレートの中心線 (h寸法) に柱材軸心を含ませる。

●溶接方法 (完全溶込み溶接)

●完全溶込み溶接とする。 (JASS 6 鉄骨工事による)

完全溶込み溶接の図解参照 (JASS 6 鉄骨工事 2007年版より)

図	溶接方法	溶接長さ (mm)	溶接幅 (mm)	溶接高さ (mm)	溶接角度 (°)	溶接形状
図1	溶接	7	-2, +0	-2, +1	α: 45	下向き
		2	-2, +1	-2, +2	α: 45	
図2	溶接	9	-2, +0	-2, +1	α: 35	下向き
		2	-2, +1	-2, +2	α: 35	
図3	溶接	6	-2, +0	-2, +1	α: 45	下向き
		2	-2, +1	-2, +2	α: 45	
図4	溶接	7	-2, +0	-2, +1	α: 35	下向き
		2	-2, +1	-2, +2	α: 35	

※溶接・図面・図解は参照しを参照。

※2層溶接は「鉄骨溶接検査基準」に規定する溶接長さ (上段: 溶接溶接長さ, 下段: 溶接溶接長さ) を参照。

■ベースプレートの予熱

●気温 (鋼材表面温度) が5℃以上のベースプレートの予熱は次に示す予熱温度標準により行う。その他必要に応じて適切な予熱をする。

溶接方法	鋼種	板厚 (mm)	予熱なし	予熱なし	予熱なし
溶接	SN490B	t ≤ 32	予熱なし	予熱なし	予熱なし
		32 < t ≤ 40	予熱なし	予熱なし	予熱なし
溶接	SN490B	40 < t ≤ 50	予熱なし	予熱なし	予熱なし
		50 < t	予熱なし	予熱なし	予熱なし

●検査方法: 溶接部の検査は超音波探傷検査により行う。

●施工管理: 7. 本工法の施工及び施工管理参照。

6. 工事場施工

6. 1 基礎工事

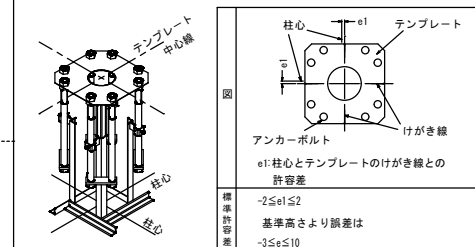
●柱脚部の捨コンの厚さは90mm以上とし、表面は平滑に仕上げる。

6. 2 アンカーボルト据付け

●アンカーボルト (フレーム) の組立ては、4隅のアンカーボルト4本で組立てを行う。

●フレームベースはステコンアンカーにより水平に固定する。

●位置決めは、テンプレートの中心線と地墨等の柱心を合致させることにより行い、標準許容差は下図による。



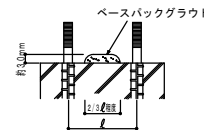
6. 3 配筋およびコンクリート打設

●配筋はアンカーボルト (フレーム) との取り合いを考慮する。

●コンクリート打設前にテンプレート位置精度を確認する。

6. 4 建方

●レベモルタルはベースパックグラウト (グラウト材) を使用し、大きさは右図による。



6. 5 アンカーボルトの本締め (弛み止め)

●本締めはグラウト材の充填前に行い、ダブルナットを標準とする。

6. 6 ベースパックグラウト (グラウト材) の注入

●グラウト材のカクハンは、グラウト材1袋 (6kg) に対して、計量カップで1.0~1.1 ℓの水を加え、電動カクハン機で混練することにより行う。

●グラウト材の注入は、グラウトローを注入座金にセットし、グラウト材の自重により他の注入座金からグラウト材が噴き出るまで行う。

7. 本工法の施工及び施工管理

●本工法は、管理者又は施工者 (元請) の管理のもとで実施するものとする。

●本工法のうち 6. 2 アンカーボルト据付け及び 6. 6 ベースパックグラウトの注入は、ベースパック施工技術委員会によって認定された有資格者 (ベースパック施工管理技術者・施工技能者) が施工を実施し、チェックシート等により施工管理を行うものとする。

●ベースプレート溶接部の施工管理は、鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者等による。

図面変更

図面変更	承認	年月日

設計

設計	承認	年月日

工事名

工事名	図面名	縮尺
下妻市消防団 (第1分団1部) 詰所新築工事	ベースパック柱脚工法 I型 標準図	

図面No.

図面No.	図面名	縮尺
021	ベースパック柱脚工法 I型 標準図	

図面No.

図面No.	図面名	縮尺
021	ベースパック柱脚工法 I型 標準図	

軽部建築設計事務所
茨城県下妻市下妻4丁目7番地 軽部守彦
一級建築士事務所登録 第 (A) 2399号 (3007)
登録 第 207999号
TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643

意匠・構造
外観・電気
機械

スリーエスG-cube工法特記仕様書

[GBRC性能証明 第07-21号改2]

1. 工 事 概 要

本地業は、セメントスラリーを用いたスラリー系機械攪拌式深層混合処理工法による地盤改良地業である。
この工法は、セメント系固化材を原地盤と攪拌混合し、原地盤をコラム状に固化する地盤改良を行うものである。

2. 一 般 事 項

本地業は、本特記仕様書によるほか、「改訂版 建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」（以下指針という）及びスリーエスG工法 品質・施工マニュアルによる工事を行う。

3. 特 記 事 項

- (1) コラムの径、掘削深度（改良長＋空掘長）、本数配置等は設計図書による。但し、コラムの径・長さ・本数・位置及びセメントスラリーの配合等について土質や地盤状況により変更した方が適切と判断される場合は、監督員の承認の上に変更することができる。
- (2) コラム設計基準強度は $F_c=700\text{kN/m}^2$ とする。
- (3) 設計の要求する性能を確保するため、適切な配合管理、施工管理および品質検査を実施する。
- (4) セメントスラリーを用いた機械攪拌式深層混合処理工法のスリーエスG工法協会に所属する会員とする。
- (5) 工法の選定は、(財)日本建築総合試験所における性能証明を有する工法を選定する。

①変動係数25%が砂質土、粘性土、ローム地盤で採用できること。

②小規模建築物に対する品質管理が規定されていること。

③材齢7日強度で合否判定が可能であると認定されていること。
- (6) 品質及び施工管理は、スリーエスG工法品質・施工管理マニュアルに基づいて行うものとする。

4. 施 工 計 画

工事に先立ち、施工計画書を監査員に提出する。施工計画書は次の事項を明記する。

- (1) 地盤概要
- (2) 工事内容（コラム径・コラム長・空掘り長・コラム数・設計基準強度）
- (3) 工事期間及び工程
- (4) 工事要領（使用固化材・配合・攪拌翼の昇降速度・吐出量等）
- (5) 施工機器及び仮設設備と配置
- (6) 配合管理・施工管理・品質管理の方法
- (7) 建築技術性能証明書
- (8) その他、必要事項

5. 施 工 機 械

- (1) 攪拌翼はセメントスラリーと原位置土を確実に攪拌混合するための共回り現象を防止する攪拌装置を装備すること
- (2) 攪拌翼は上下にセメントスラリー吐出口を設け、掘削時に下吐出口から引上げ時に上吐出口からセメントスラリーを吐出可能な吐出切替構造であること
- (3) 所定の施工管理項目の計測及び記録ができる管理装置を用いること
- (4) 改良機本体は本工事の施工仕様を満足させる施工制御機器を装備したものでリーダー付及び自走式タイプであること
- (5) ミキシングプラントは所定吐出量を十分供給できる能力を有していること

6. 配 合 試 験

- (1) 本工事に先立ち現場から試料土を採取して、所定の室内配合試験を実施し、所要の強度が得られるよう配合条件を決定する。

試験名	室内配合試験
試料箇所数	1箇所

7. 配 合 管 理

- (1) セメントスラリーに使用する固化材は、セメント又はセメント系固化材とする。
- (2) 配合強度

配合強度 X_f は設計基準強度 F_c の1.7倍に設定する。

$$X_f = F_c \times 1.7$$

X_f : 配合強度 (kN/m²)

F_c : 設計基準強度 (kN/m²)

- (3) 配合量（固化材量とW/C）

室内配合試験の結果あるいは過去の工事実績に基づいて、配合強度を満足するように決定する。

$$X_{128} = X_f / \alpha_f$$

X_{128} : 室内配合強度 (28日強度) (kN/m²)

X_f : 配合強度 (kN/m²)

α_f : 現場／室内強度比（強度比0.65；実績より）

$$X_{17} = (X_f / \alpha_f) / \sigma_7$$

X_{17} : 室内配合強度 (7日強度) (kN/m²)

X_f : 配合強度 (kN/m²)

α_f : 現場／室内強度比（強度比0.65；実績より）

σ_7 : 材齢28日／材齢7日強度比

室内配合試験 (3日強度： X_{13}) により決定する場合は、 X_{17} を材齢7日／材齢3日強度比で割った配合強度とする。

暫定配合量350 (kg/m³)、W/C＝70% 【最終的には配合試験により決定する。】

8. 品 質 検 査

- (1) 検査対象群、検査対象層及び調査箇所数。

① 設計対象層は最弱層とし、砂質土、粘性土、ロームの土質区分では（ローム）とする。

② 設計対象層 (最弱層) の深度は、GL-(1.00 ～ 5.00m) 付近とする。

表 1. 調査箇所数

項 目	採取部位	採取箇所数	備 考
小規模建築物における品質検査	頭部モールドコア	1箇所	材 齢 7 日
	深部モールドコア	1箇所	材 齢 7 日

注) 深部モールドコアにおいて、 $X_{i7} < F_c$ の場合は、材齢28日強度を確認する。

頭部モールドコアの抜き取り数は、改良体100本に1箇所以上とする。

- (2) メーターサンブラーによる品質管理

設計対象層に対しメーターサンブラーにてサンプリングを行う。

改良部の連続性、土塊混入状況、及び不良率の確認をフェノール試験、指圧試験により行う。

ただし、現場状況等によりメーターサンブラーによるサンプリングが困難な場合は、深部モールドコアを1箇所追加し、計2箇所でサンプリングすることによりメーターサンブラーの代用を行う。

高温養生 (60℃) による材齢1日圧縮試験を行う。

これらにより、健全な品質を確認しモールドコア試験を実施する。

- (3) 合否の判定

- ① 抜き取り1箇所に対して3個の供試体を採取する。
- ② 合否の判定はn個 (コアの個数) の一軸圧縮試験結果が、下式を満足する場合を合格と判定する。

$$X_i \geq F_c$$

X_i : 検査対象層より採取した個々のコアの一軸圧縮強さ（材齢7日） ($1 \leq i \leq n$) (kN/m²)、
（もし $X_{i7} < F_c$ の場合は、 $X_{i28} \geq F_c$ を確認する。）

F_c : 設計基準強度 (kN/m²)

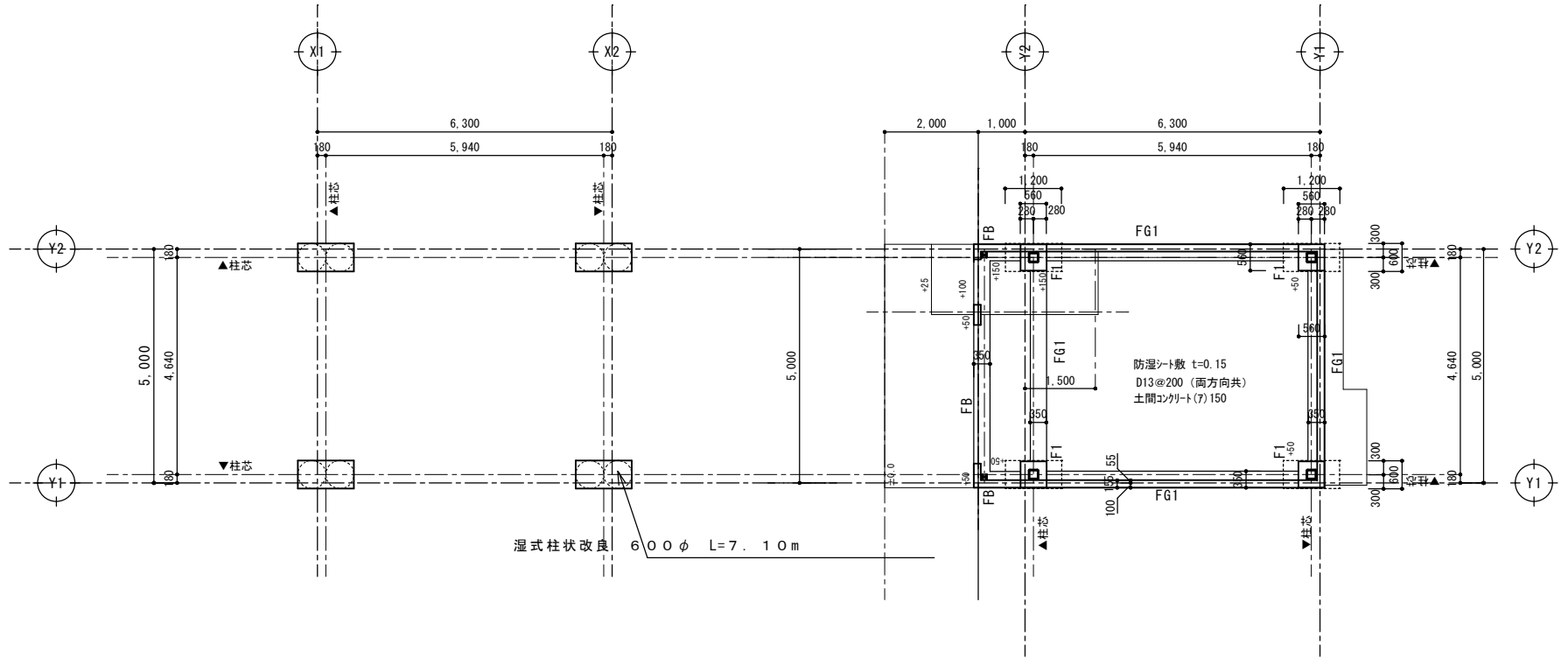
n : コアの抜き取り個数

i : 個々の供試体

9. 工 事 報 告

工事完了後、次の項目について報告書をまとめ、監督員に提出する。

- ① コラム伏図及び番号
- ② コラムの施工日
- ③ コラムの径及び改良長
- ④ 掘削深度
- ⑤ 固化材の配合と使用量
- ⑥ モールドコア圧縮強度試験結果



地盤改良体伏図 S=1/100

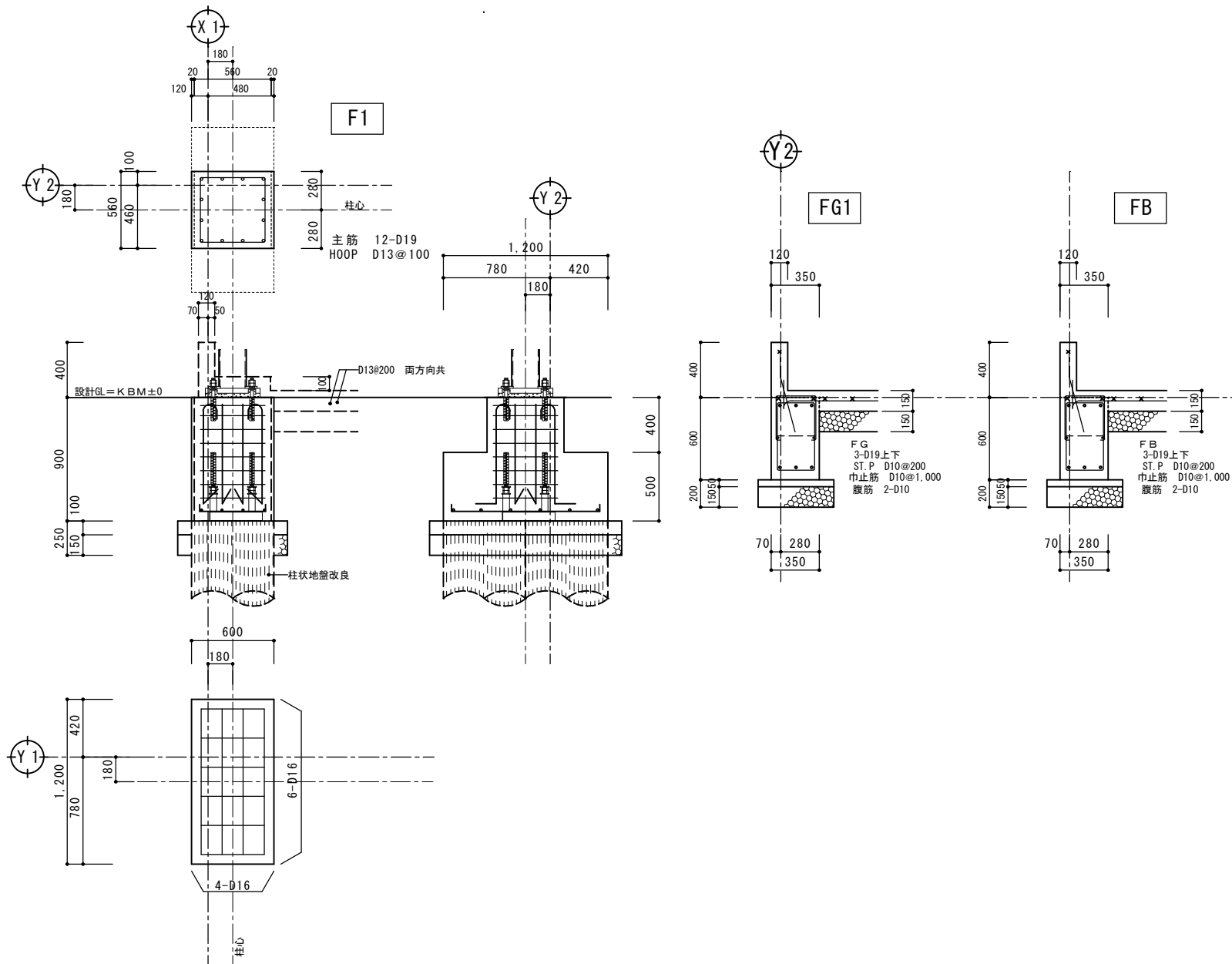
基礎伏図 S=1/100

図面変更	工 事 名		設計		<div>◀ 軽部 建築設計事務所</div> <div>茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部 守彦</div> <div>一級建築士事務所登録 茨 第(A) 2399号 (0507)</div> <div>登録 第 207999 号</div> <div>TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643</div>	意匠No. 構造 構 造 外構 電 気 機 械	図面No. 024
	下妻市消防団(第1分団1部)詰所新築工事		令和 7 年 6 月 日				
	図 面 名 地盤改良体伏図 基礎伏図	縮尺 1 / 100	承認				

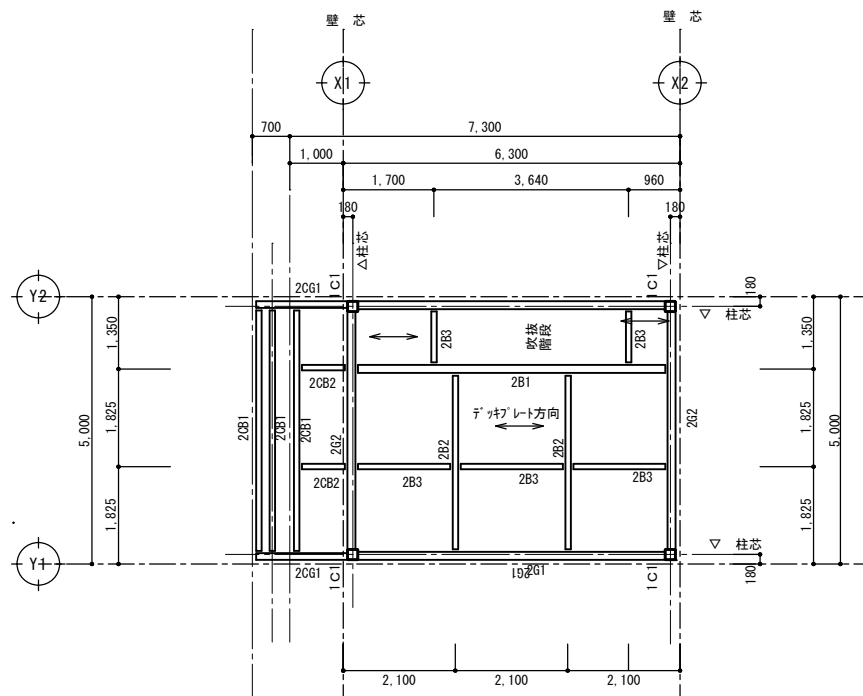
ベースバック 20-12V

Technical drawings showing the base plate and column reinforcement details. The base plate is 360x360x32. The column reinforcement includes 4-M33 (SD490) anchor bolts, 12-D19 (SD345) vertical bars, and D13@100 (SD295) stirrups. The concrete design standard strength is 21N/mm² or higher.

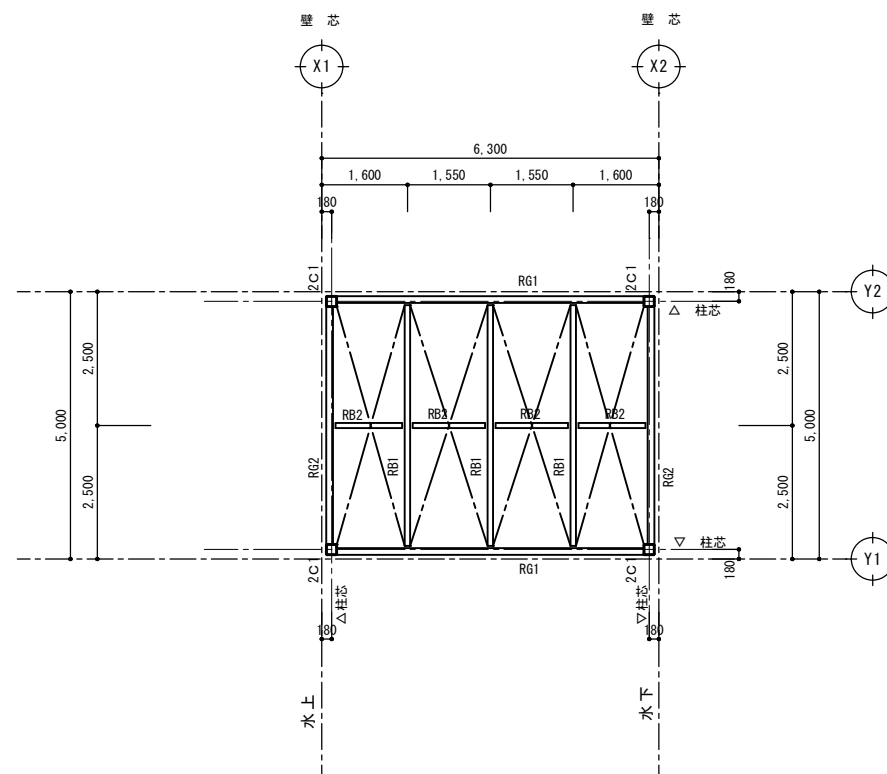
柱部材	□-200×200×12
ベースプレート	360×360×32
アンカーボルト	4-M33 (SD490)
コンクリート柱断面	560×560
立上り筋	12-D19 (SD345)
フープ筋	D13@100 (SD295)
コンクリート設計基準強度	21N/mm ² 以上




基礎詳細図 1 / 3 0

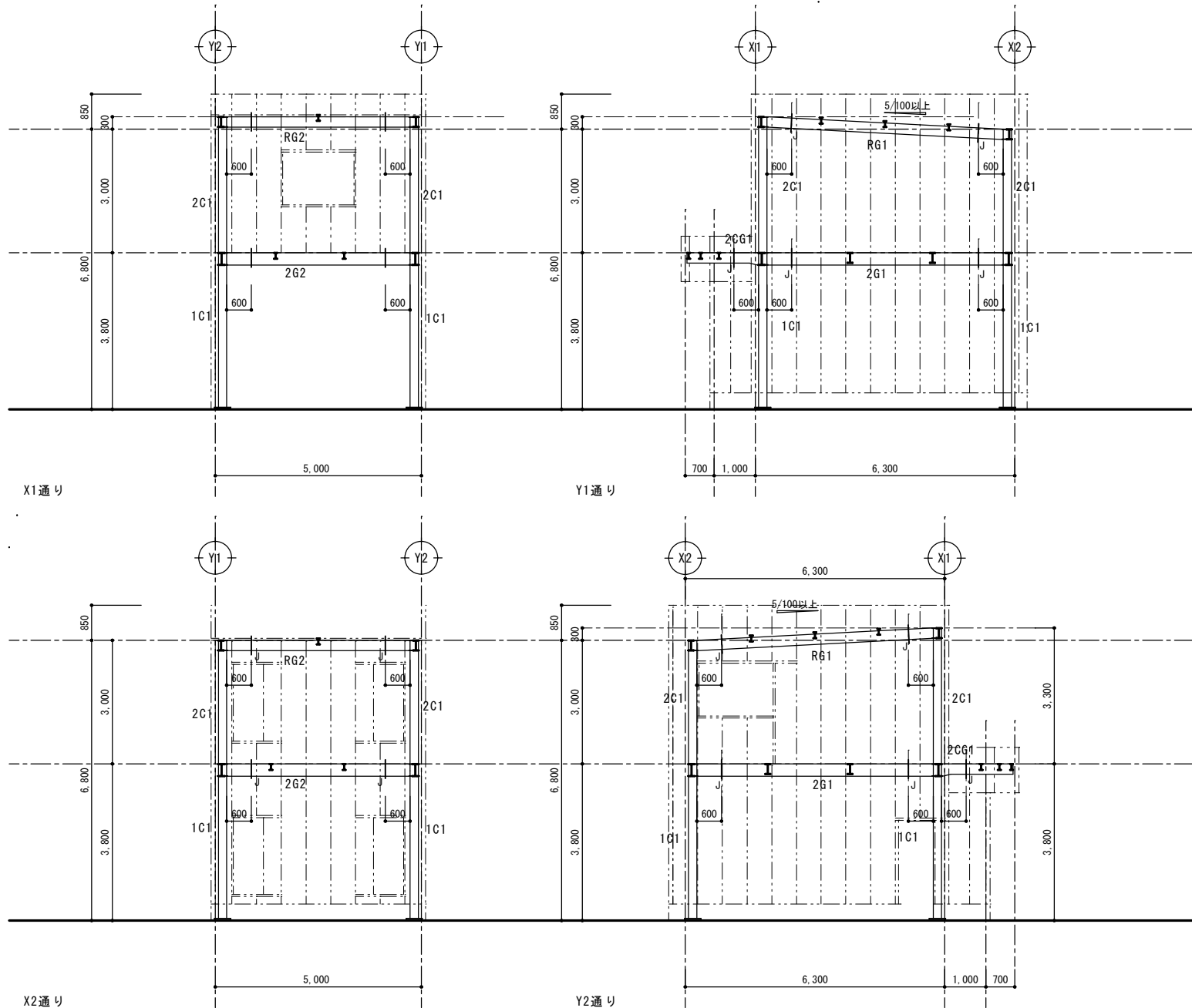


2階梁伏図 1/100

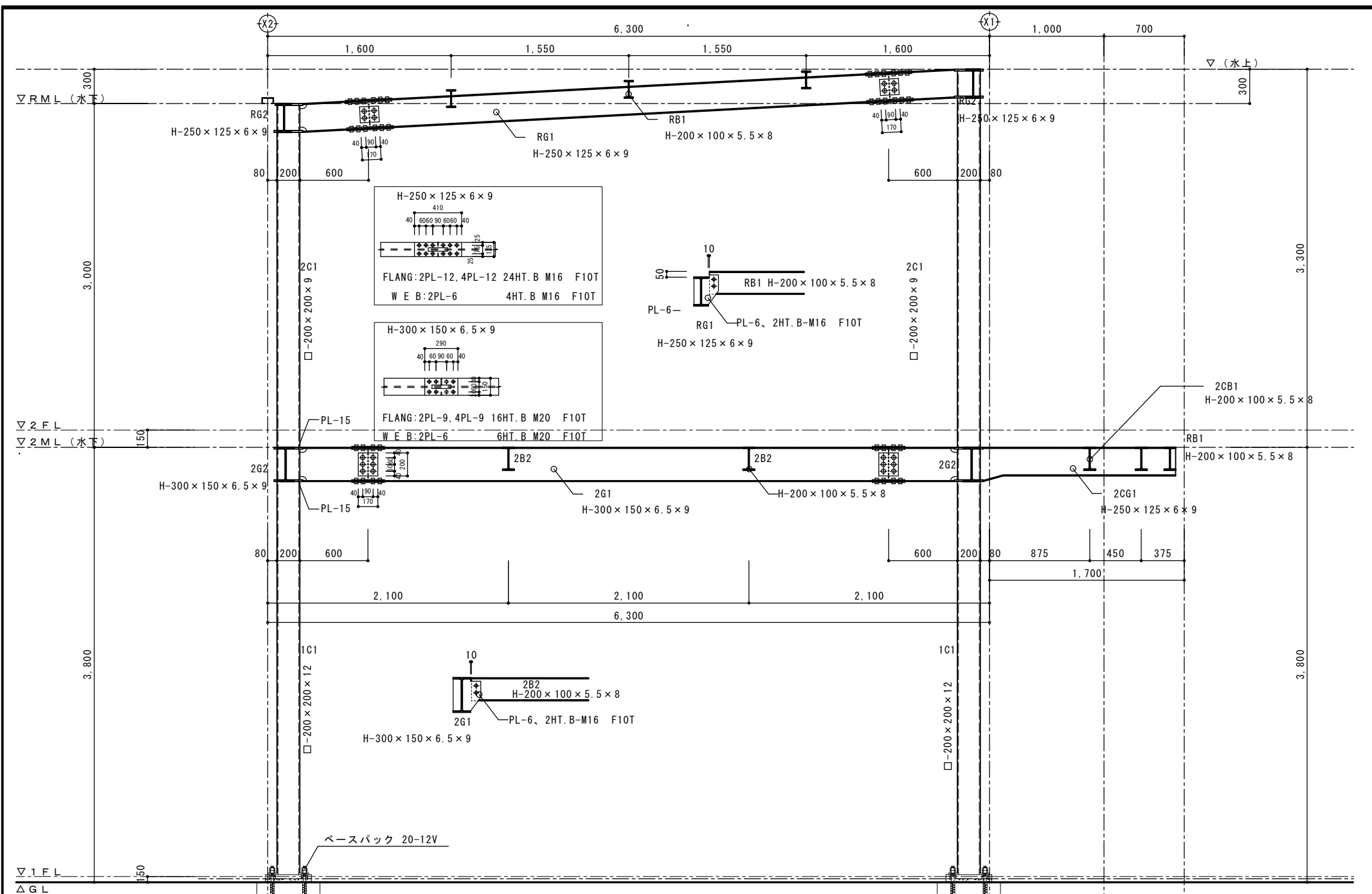


R階梁伏図 1/100

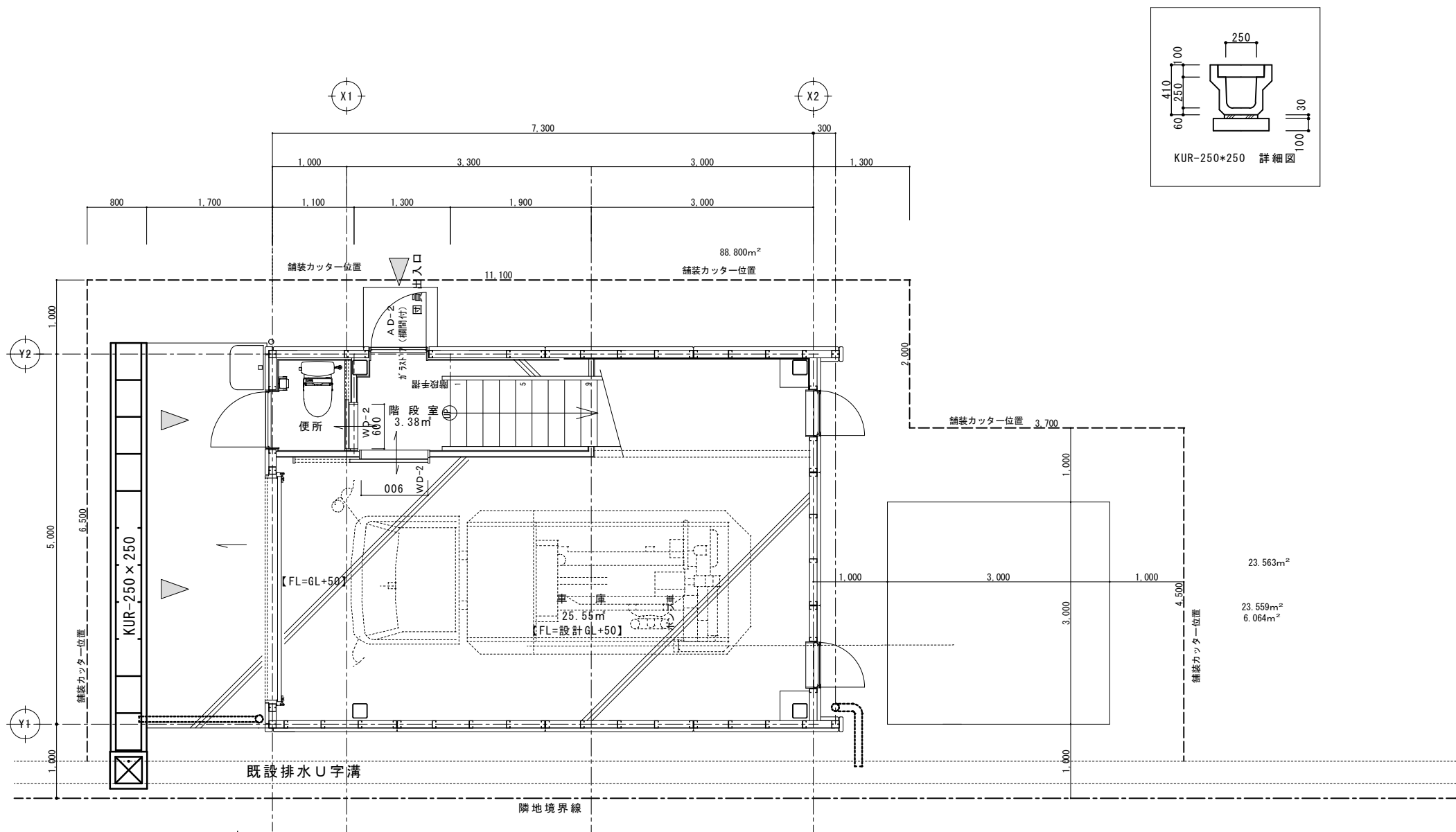
図面変更	工事名 下妻市消防団(第1分団1部)詰所新築工事	設計 令和 7 年 6 月 日	<div>  軽部建築設計事務所 </div>	図面No. 026
	図面名 梁伏図	縮尺 1/100	<div> <div>茨城県下妻市大字下妻丙47番地</div> <div> <div>軽部 守彦</div> <div>一級建築士事務所登録 茨第(A)2399号(0507)</div> </div> <div> <div>登録 第207999号</div> <div>一級建築士</div> </div> </div>	構造 外構 電気 機械
		承認	<div> <div>TEL 0296-44-3380</div> <div>FAX 0296-44-5643</div> </div>	



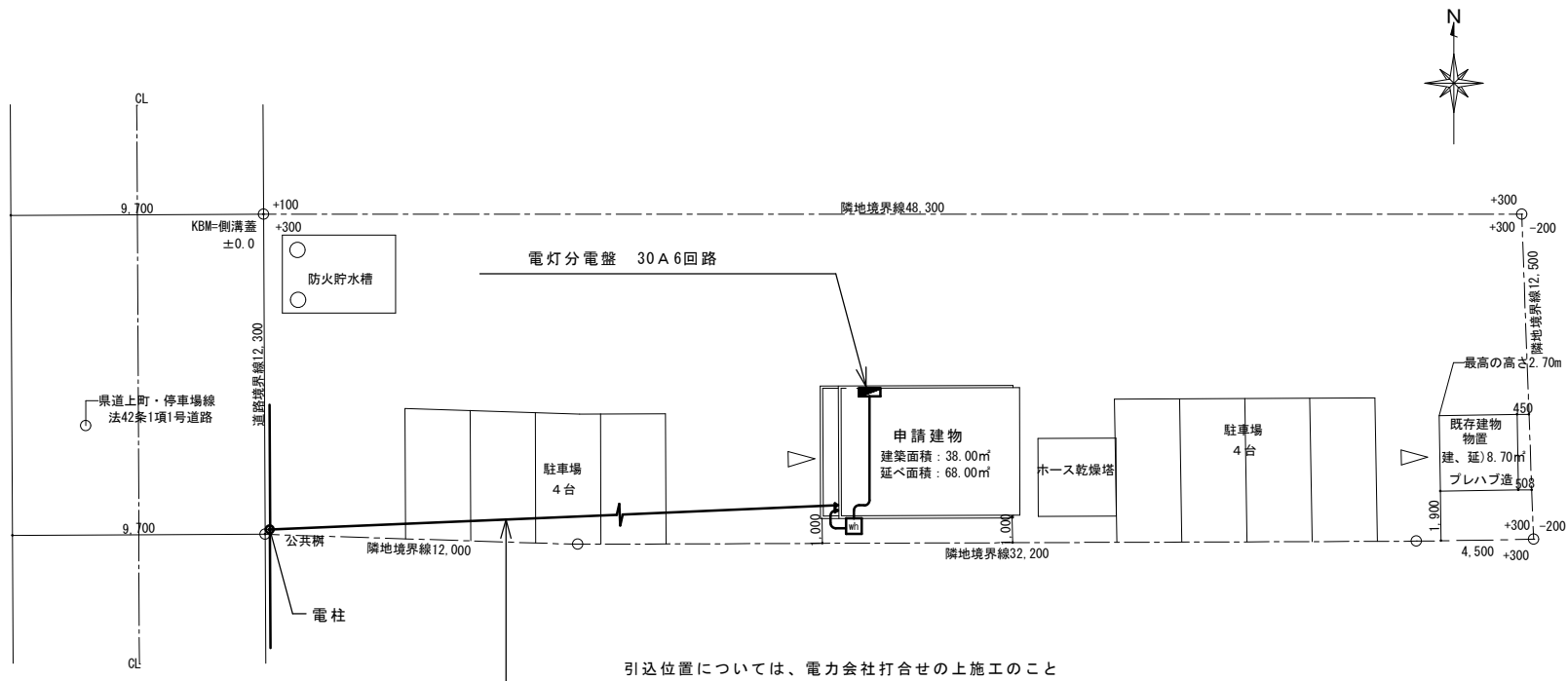
MEMBER'S LIST		
記号	鋼材	使用材料
1C1	□-200*200*12	BCR295
2C1	□-200*200*9	BCR295
2G1	H-300*150*6.5*9	SN400B
2G2	H-300*150*6.5*9	SN400B
RG1	H-250*125*6*9	SN400B
RG2	H-250*125*6*9	SN400B
2CG1	H-250*125*6*9	SN400B
2B1	H-300*150*6.5*9	SS400
2B2	H-200*100*5.5*8	SS400
2B3	H-150*75*5*7	SS400
2CB1	H-200*100*5.5*8	SS400
2CB2	H-150*75*5*7	SS400
RB1	H-200*100*5.5*8	SS400
RB2	H-150*75*5*7	SS400
水平ブレース	1-M20 (ターンバックル付)	SS400
縦胴縁	C-100*50*20*2.3@600	SSC400
鋼板	PL-6~PL-12	SS400



図面変更		工 事 名		設計		意匠: No.				図面No.	
		下妻市消防団（第1分団1部）詰所新築工事		令和 7 年 6 月 日		R 軽部建築設計事務所				構造	
						茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部 守彦				外構	
						一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (0507)				電気	
		図 面 名		縮尺		承認				機械	
		接 合 部 詳 細 図		1 / 3 0		TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643				028	



図面変更	設計	<div> 軽部建築設計事務所</div> <div>茨城県下妻市大字下妻丙 4 7 番地 軽部 守彦</div> <div>一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (2507)</div> <div>・ 一級建築士 登録 第 207999 号</div> <div>TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643</div>	工事名		意匠 No.	図面 No. 029	
	平成 29 年 7 月 日		下妻市消防団 (第 2 分団 2 部) 詰所新築工事		構造		
	承認		図面名		縮尺		外構
			外 構 図		1 / 50		電気
					機械		



電気設備配置図 1/200

図面変更

工事名

下妻市消防団1-1詰所新築工事

設計

令和 07 年 02 月 日

図面名

電気設備配置図

縮尺

1/200

承認

軽部建築設計事務所

茨城県下妻市大字下妻丙47番地

軽部 守彦

一級建築士事務所登録 茨第 (A) 2399号 (0507)

一級建築士 登録 第 207999号

TEL 0296-44-3380

FAX 0296-44-5643

意匠No.

構造No.

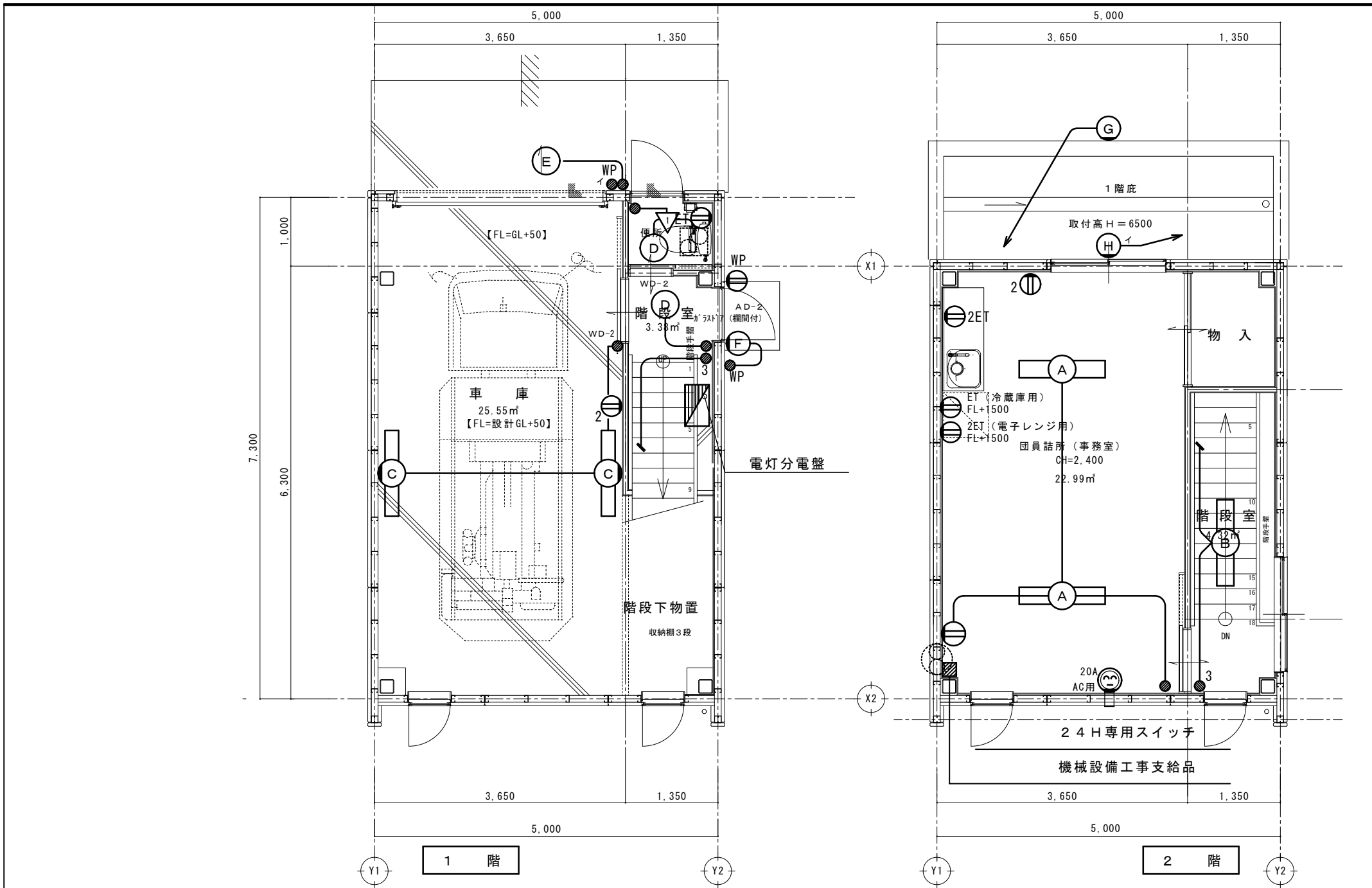
外構No.

電気No.

機械No.



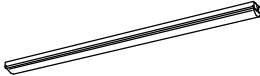
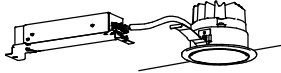

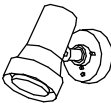
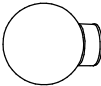
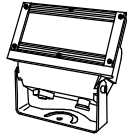
図面No.

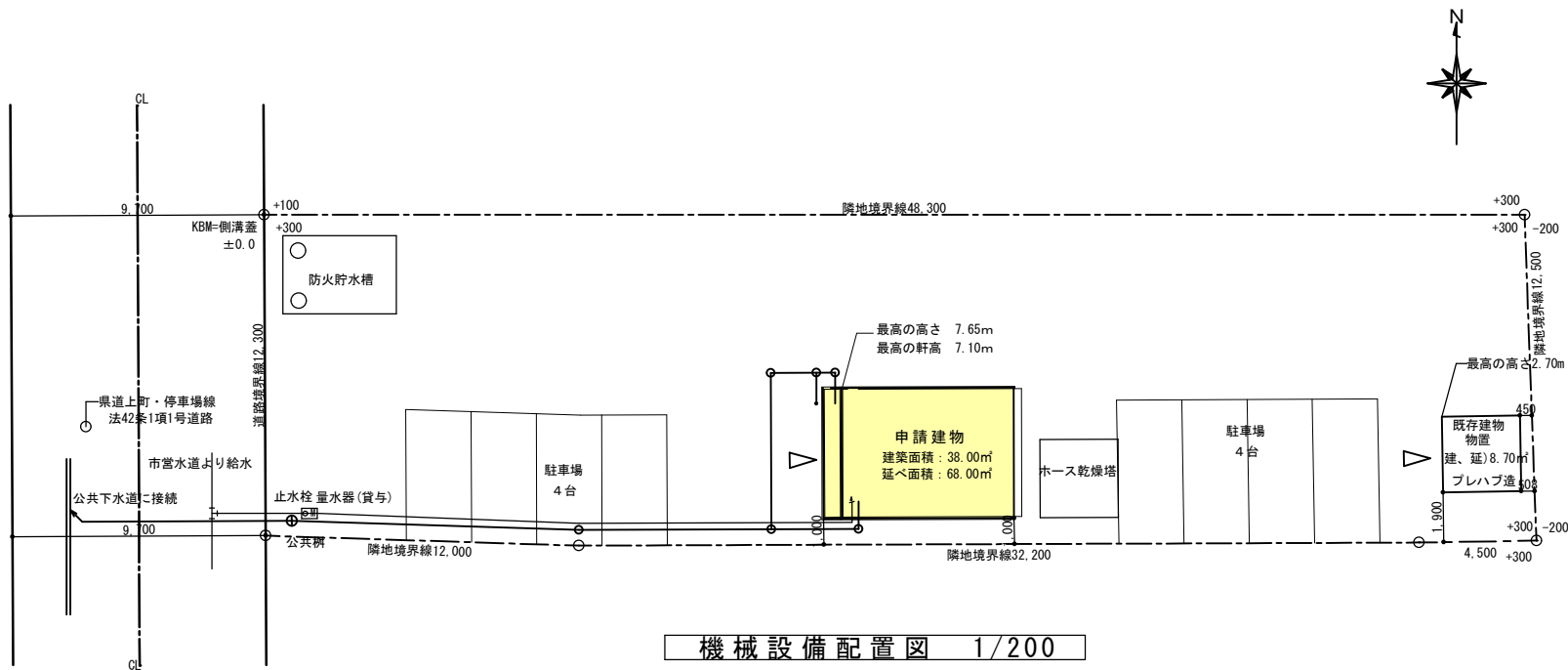
030



図面変更	設計	<div> 軽 部 建 築 設 計 事 務 所</div> <div>茨城県下妻市大字下妻丙 47番地 軽 部 守 彦</div> <div>一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (2507)</div> <div>一級建築士 登録 第 207999 号</div> <div>TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643</div>	工 事 名		意匠: No.	図面No.	
	平成 29 年 7 月 日		下妻市消防団 (第 1 分団 1 部) 詰所新築工事				構造: 外構: 電気: 機械:
	承認		図 面 名	縮尺			
			電 灯 ・ コ ン セ ン ト 図	1 / 5 0		031	

照明器具姿図

A	LED直付型40形Dスタイル W150	B	LED直付20形 Dスタイル W150	C	LED直付型40形iスタイル	D	LEDダウンライト 100形
	一般タイプ、5200lmタイプ		一般タイプ、1600lmタイプ		一般タイプ、5200lmタイプ		LED<ワンコア（ひと粒）タイプ>
	ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）		ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）		ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）		拡散タイプ
パナソニック 直付XLX450AENKLE9相当品		パナソニック 直付XLX210AENLE9相当品		パナソニック 直付XLX450NENZLE9相当品 片反射笠アダプタ付		パナソニック ダウンライトXNDN1038WNKLE9相当品	
							
定格出力型、電圧100～242V		定格出力型、電圧100～242V		電圧100～242V			
E	LEDダウンライト コンパクト形蛍光灯FDL27形器具相当	F	LED10W スポットライト	G	LED赤色表示灯	H	LEDスポットライト CDM-T150形相当
	LED<ワンコア（ひと粒タイプ）>、軒下用（防雨型）		電球色、器具光束250lm、防雨型				昼白色、光束：5600lm
	拡散タイプ、器具光束850lm		可動範囲上下80度、回転方向330度		防雨型 電池内蔵型		フロント&ワイド配光タイプ、防雨型
パナソニック NDW16610LE9相当品		パナソニック LGW45030BK相当品		パナソニック NNF20241		パナソニック NNY24865LE9	
							
電圧100～242V 埋込穴φ150、埋込高98		電圧100V				消費電力60.6W、電圧100～242V	
I							



図面変更

工事名

下妻市消防団1-1詰所新築工事

設計

令和 07 年 02 月 日

図面名

機械設備配置図

縮尺

1/200

承認

軽部建築設計事務所

茨城県下妻市大字下妻丙47番地

軽部 守彦

一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (0507)

一級建築士 登録 第 207999号

TEL 0296-44-3380

FAX 0296-44-5643

意匠;No.

構造;

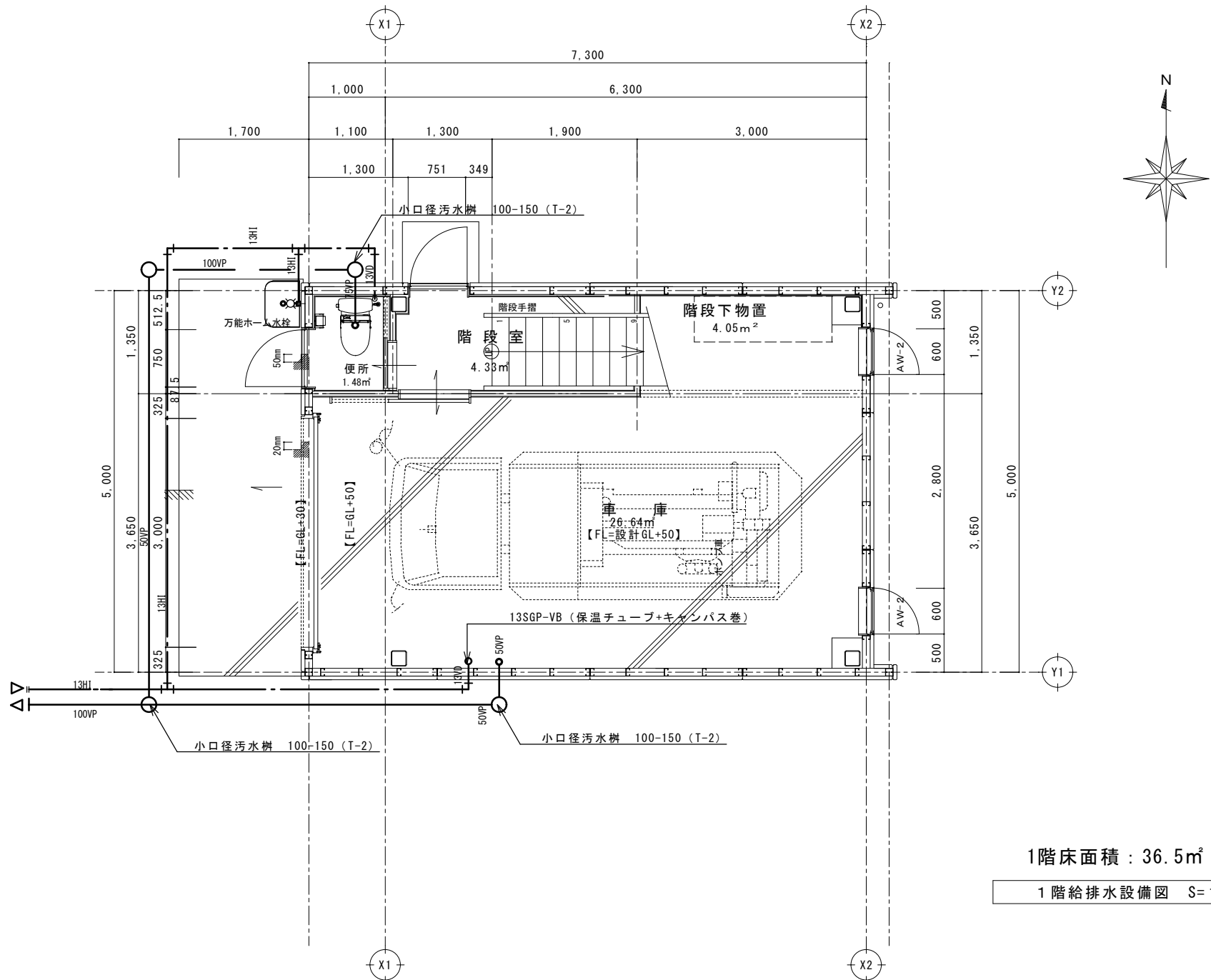
外構;

電気;

機械;

図面No.

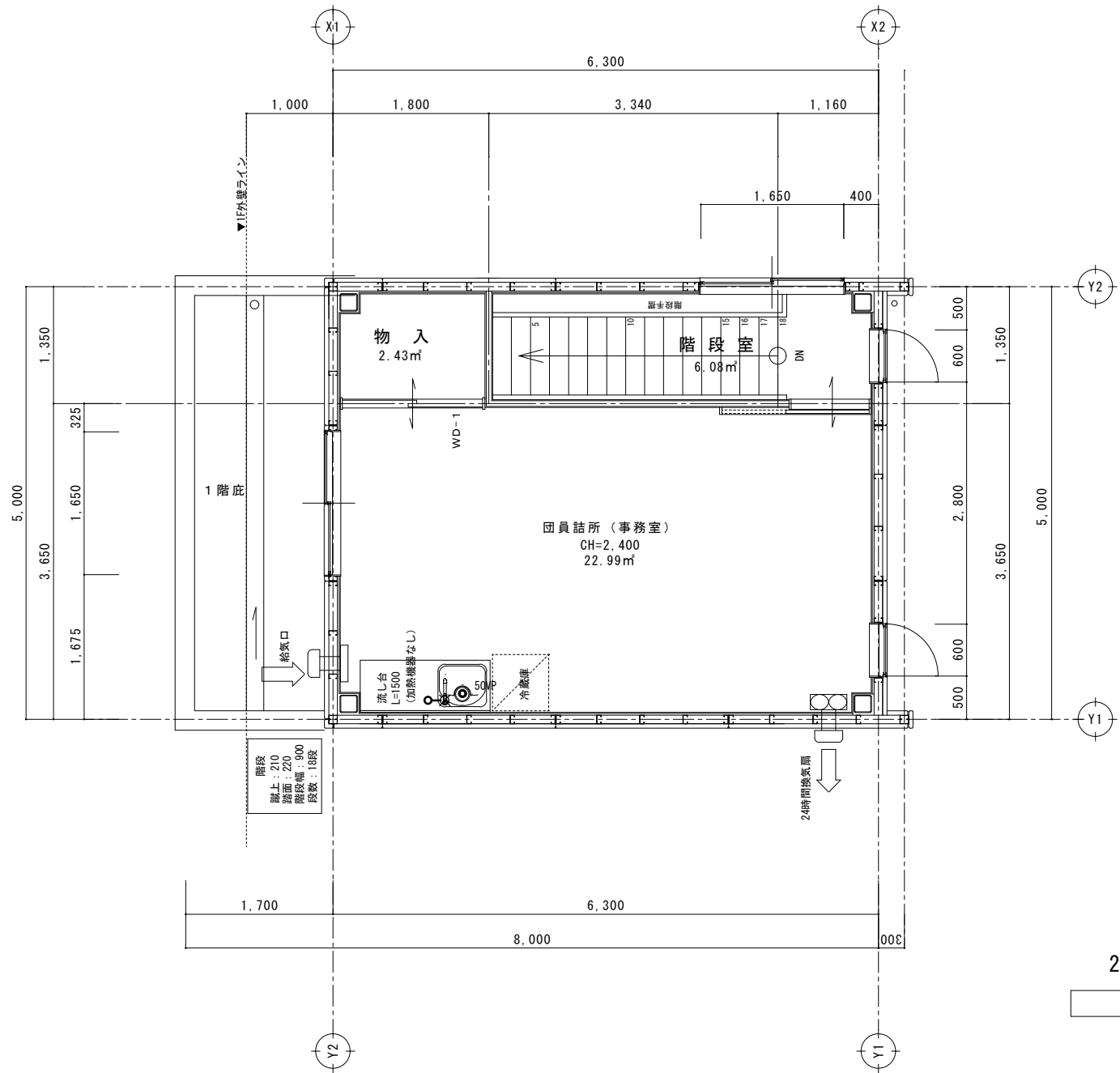
033



1階床面積 : 36.5㎡

1階給排水設備図 S=1/50

図面変更	設計	<div><div><div><div><div></div></div></div><div><div>軽部建築設計事務所</div></div></div><div>茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部 守彦</div><div>一級建築士事務所登録 茨 第 (A) 2399号 (2507)</div><div>一級建築士 登録 第 207999号</div><div>TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643</div></div>	工事名		意匠 構造 外構 電気 機械	図面No. 034
	令和 07 年 04 月 日		下妻市消防団 (第1分団1部) 詰所新築工事			
	承認		図面名	縮尺		
			1階給排水設備図	1 / 50		



2階床面積 : 31.5m²

2階給排水設備図 S=1/50

図面変更

設計

平成 29 年 7 月 日

承認

軽部建築設計事務所

茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部守彦
一級建築士事務所登録 茨第 (A) 2399号 (2507)
一級建築士 登録 第 207999号
TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643

工事名

下妻市消防団 (第1分団1部) 詰所新築工事

図面名

2階給排水設備図

縮尺

1/50

意匠

構造

外構

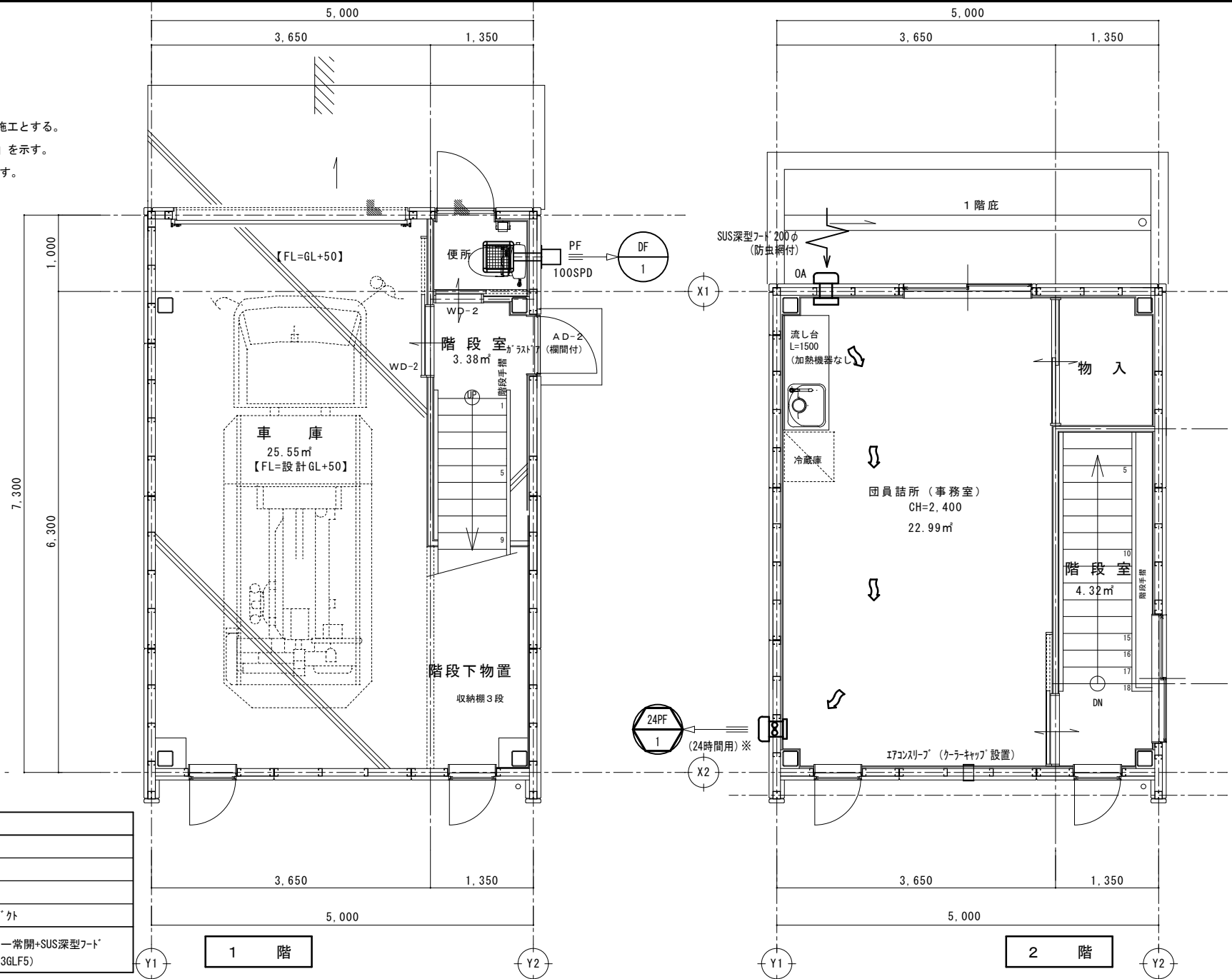
電気

機械

図面No.

008

- 注) 1. 排気ダクトは外壁より1m迄防露材巻き施工とする。
2. ※の換気扇は「シックハウス対象換気扇」を示す。
3. ⇨ は、シックハウスの気流を示す。



図面変更

設計

平成 29 年 7 月 日

承認

軽部建築設計事務所

茨城県下妻市大字下妻丙47番地 軽部守彦
一般建築士事務所登録 茨第(A)2399号(2507)
一般建築士 登録 第207999号
TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643

工事名

下妻市消防団(第1分団1部)詰所新築工事

図面名

換気扇平面図

縮尺

1/50

意匠No.

構造
外構
電気
機械

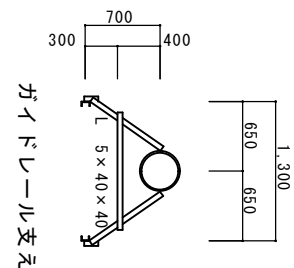
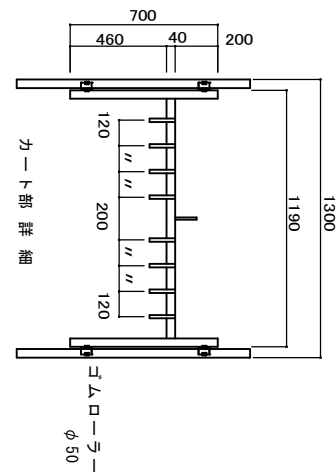
図面No.

036

衛生器具表（同等品以上とする。）						
設置場所	衛生器具名称	参考形式	参考メーカー	コード	仕様	員数
トイレ	腰掛便器	GS 220 B	TOTO	158	ハイド 洗浄、防露式ロタンク（手洗付）SH221BAS、 紙巻器 YH51R	1
2階団員詰所（事務所）	流し台		LIXIL		間口150cm サンファアーニ <ティオ> フロアユニットベアシック（1段引出し） 加熱機器なし フロアキャビネット H Y N K 5 N S 15 ステンレストップ 扉シリーズ 034シリーズ シングルレバー水栓 S F - H E 4 2 1 S Y X J G E	1
屋外	不凍栓付水栓柱				L=1200、合成樹脂製	1
	万能ホーム水栓	F7			13φ	1
	研ぎ出し流し台				W550*D500*H170 プ ロ ッ ク 土 台 共	

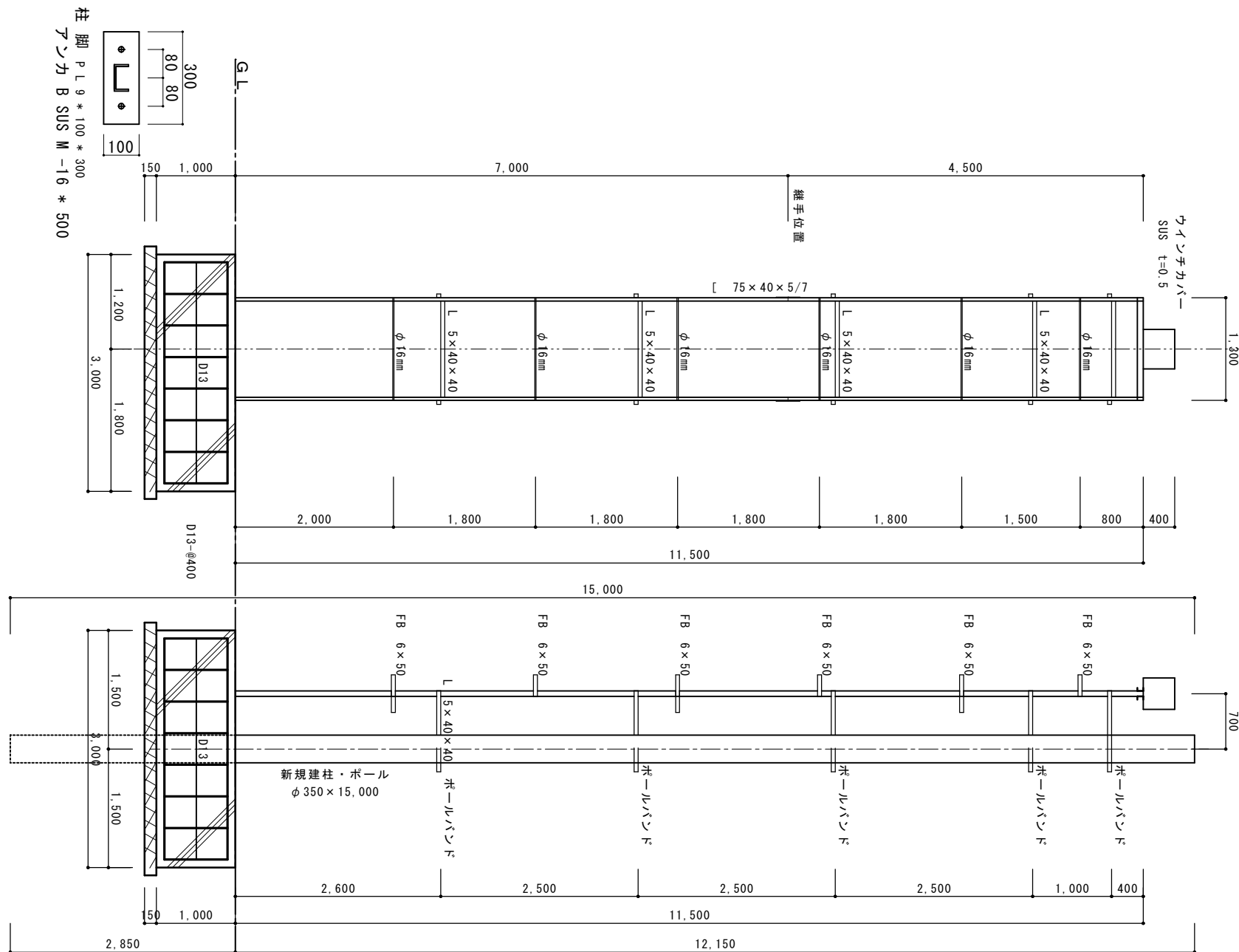
換 気 扇 機 器 表						
符号	名称	仕様	換気機器表（50HZ）同等品以上とする。	参考形式（三菱）	員数	取付場所
24PF-1	パイプファン（24時間）	1-100V-1.7W-62m3/h（パイプ長10m時）	SUS深型フード（網付）100φ コントロースイッチP-10SWL2	V-06PLD2	1	団員詰所（事務室）
DF-1	天井扇	（低騒音型）1-100V-20W-140m3/h（パイプ長20m時） （150m3/h型）	SUS深型フード（網付）100φ	VD-15 ZPC9	1	トイレ

シックハウス対策による法規制（常時24時間換気設備の検討）												
※24時間専用スイッチ（カバー付）を使用する。												
階別	室名 換気範囲	床面積 m ²	平均天井高 h	気積 （小数点第3位切捨） m ³	換気 種別	給気量 m ³ /h	排気機による 排気量 m ³ /h	換気回数 0.3 < OK	符号	設計換気扇 名称	形式（三菱）	備 考
2 階	団員詰所（事務室）	22.99	2.40	55.17	3		26	0.47	24PF-1	パイプファン	V-06PLD2	1-100V-1.7W-26m ³ /h（パイプ長10m時） コントロールスイッチP-11SWL2



* 特記無限り・溶融亜鉛鍍金とする
ボルト・全て SUS とする

部材リスト	
ガイド柱	[75 * 40 * 5/7
カート	[75 * 40 * 5/7
控支柱	L 5 * 40 * 40
ホース振止	S R 235 16 mm



電動ワイヤーロプ式 軽量・防雨型 最大荷重200kg・標準揚程20m [VX-200同等]

図面変更	設計	<div><div><div><div><div></div></div></div><div><div>軽部建築設計事務所</div><div>茨城県下妻市下妻丙47番地 軽部守彦</div><div>一級建築士事務所登録 茨第(A)2399号(3007)</div><div>一級建築士 登録 第207999号</div><div>TEL 0296-44-3380 FAX 0296-44-5643</div></div></div></div>	工事名		意匠: No. 構造 外構 電気 機械	図面No. 033
	令和 3 年 月 日		下妻市消防団 第4分団第3部詰所 新築工事			
	承認		図面名	縮尺		
			電動式ホース乾燥塔	1/50		